



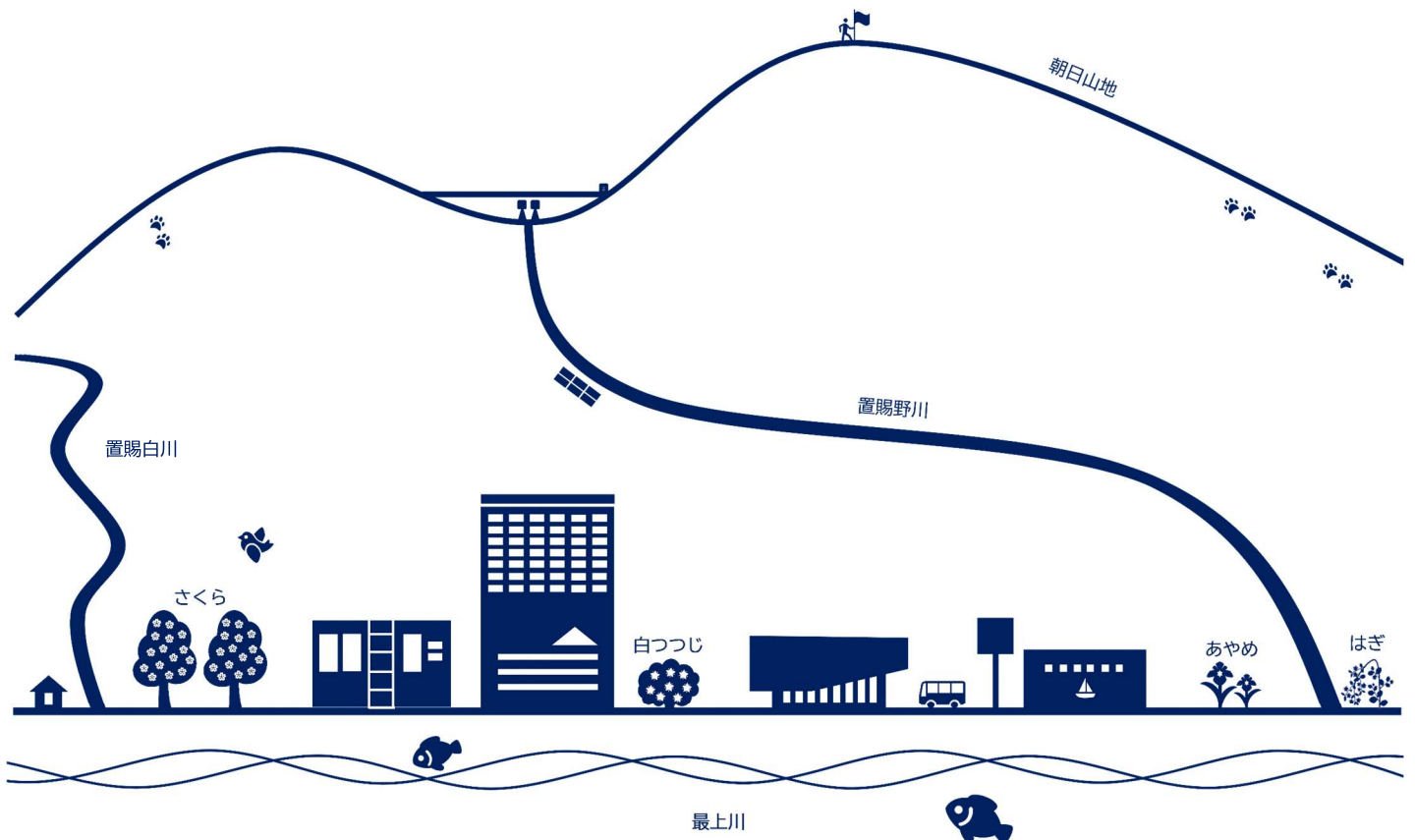
第 4 次

長 井 市

環 境 基 本 計 画

2024 ▶ 2033

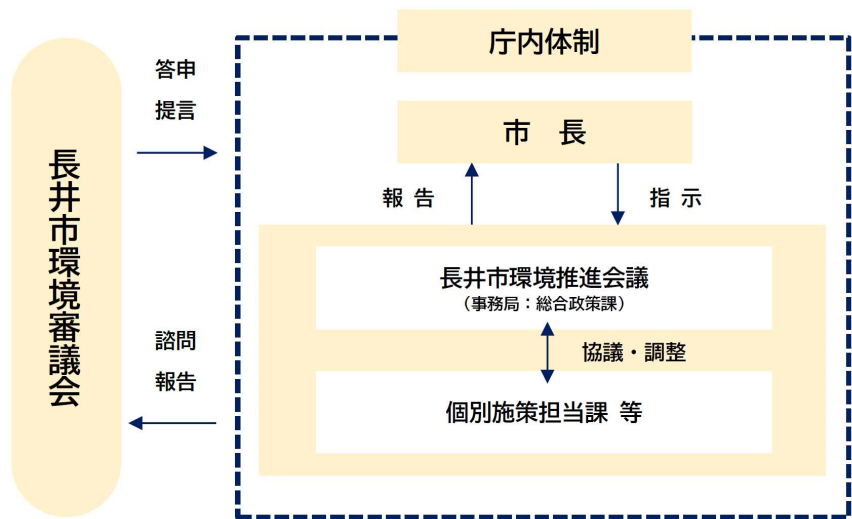
令和6(2024)年度 年次報告書



令和6(2024)年度 年次報告書について

「第4次長井市環境基本計画」(令和6年3月策定)の「第7章 計画の推進」で定めた推進体制及び進行管理に基づき、年度毎に年次報告書として取りまとめ、市民・事業者等に公表するものです。

1 推進体制図(第7章 P85 抜粋)

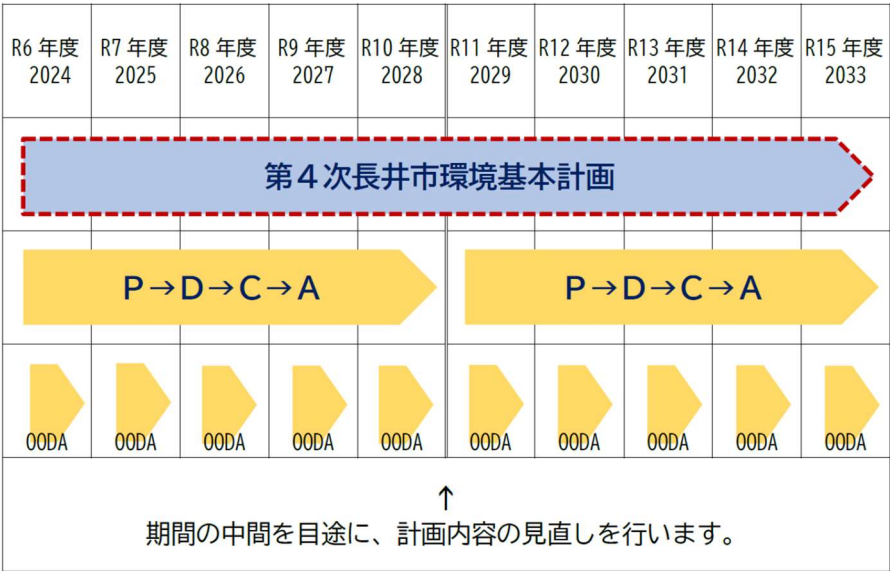


2 進行管理(第7章 P86 抜粋)

本計画については、取組みの効果の発現までに、一定の時間を要することから、P D C Aサイクルを用いて点検・評価を行い、進捗状況を管理します。

また、急激な気候変動や社会情勢の変化、上位計画の大幅な見直しがあった場合など、常に環境全般に関する実態を把握し、行動に転換する仕組みが重要です。このため、数値目標とアクションについては、OODAループの考え方に基づき、年度毎に検証するとともに必要に応じて迅速な見直しを行うものとします。

計画の点検・評価方法について



3 点検項目

① 第4次長井市環境基本計画について

環境目標1から5までの数値目標(指標)に対する進捗状況、主な取り組み及び今後の方針等を記載します。

環境目標

1 地球温暖化への対応

市域全体に、環境へ配慮した省エネルギー行動と再生可能エネルギーの地産地消が浸透しています。

環境目標

2 循環型社会の展開

3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取組みに加え、市域で発生するバイオマス資源が有効に活用され、市域全体に好循環を生み出しています。

環境目標

3 安全安心な生活環境の保全

良好な大気、水環境が維持され、だれもが安心して健やかに暮らしています。

環境目標

4 多様で豊かな自然環境の継承

森林地域が適切に管理・保全され、保安林や水道水源として保護されています。

生物多様性につながる生態系や地域に伝わる文化財が適切に管理され、保全されています。

環境目標

5 環境学習の推進

市民のだれもが環境に配慮した行動を実践しています。

Nagai City Environment Master Plan

② 区域施策編について

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画(区域施策編)の温室効果ガスの削減目標(2030年度までに50%削減)及び数値目標に対する進捗状況、主な取り組み及び今後の方針等を記載します。

③ 事務事業編について

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画(事務事業編)の温室効果ガスの削減目標(2030年度までに51%削減)及び数値目標に対する進捗状況、主な取り組み及び今後の方針等を記載します。

点検様式の記載(例): 環境目標1「地球温暖化への対応」

環境目標1 地球温暖化への対応

【目指す市の姿】
市域全体に、環境へ配慮した省エネルギー行動と再生可能エネルギーの地産地消が浸透しています。
【数値目標の進捗状況】

指標1 区域施策編における温室効果ガス排出量

1 区域施策編における温室効果ガス排出量 (t-CO2)

年度	実績	目標
R4	231,600	231,600
R5	158,000	158,000
R6	158,000	158,000
R7	158,000	158,000
R8	158,000	158,000
R9	158,000	158,000
R10	158,000	158,000
R11	158,000	158,000
R12	158,000	115,800

長井市におけるCO2排出量は、環境省が公表する自治体排出量カルテを採用する。
※消費統計や温室効果ガス排出測定・報告等を基に算出するため、2年ほど遅れて公表されます。
現時点での最新データは令和4年度値であるが、排出量は順調に減少しており、詳細は区域施策編に記載する。

指標2 事務事業編における温室効果ガス排出量

2 事務事業編における温室効果ガス排出量 (t-CO2)

年度	実績	目標
R4	4,910	4,910
R5	4,077	4,077
R6	3,560	3,560
R7	3,560	3,560
R8	3,560	3,560
R9	3,560	3,560
R10	3,560	3,560
R11	3,560	3,560
R12	3,560	2,406

本市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量は、目標達成に向けて順調に減少している。
詳細は事務事業編に記載する。

■ R6年度の主な取り組み

みんなで取り組む環境アクション!

① 電気や水を大切に使う
② 再生可能エネルギーを取り入れよう

市の施策: 省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの推進

- 環境省の「脱炭素重点対策実施地域」に選定されたことから、再生エネルギー推進交付金を活用した「地域脱炭素プラン推進事業補助金」を創設。
- 個人、事業者向けの再生エネルギー省エネルギー設備導入に対する関係補助額を大幅に拡充した。
- 脱炭素経営セミナー2024を開催し、省エネ診断を起点とした脱炭素経営のメリットを周知した。
- 地域新電力と連携し、地域の再生エネルギー100%電力を使用している市内全小中学校(8校)に「電力の見える化システム」を実証導入し、電力の地産地消を広く周知した。
- 市報やタブロイド誌により、環境アクションや脱炭素の暮らしのメリットを周知した。
- 生ごみを原料としたバイオガス発電事業や、給食共同調理場に隣接する市有地への太陽光発電設備の整備事業(PPA)に着手し、調査及び配置設計を行った。

↓

■ R7年度以降の方針、課題

- 市の率先実行として、再生エネルギーの地産地消を推進する。
- 市報やチラシにより、脱炭素の暮らしのメリットについて、周知啓発を継続する。
- 自家消費型太陽光発電設備の普及が課題であるため、周知啓発を強化する。
- 脱炭素経営セミナーを継続し、省エネ診断を起点とした脱炭素経営のメリットや、補助金の有効活用について、積極的な周知を行う。
- 公共交通の利便性を高めるため、市独自の公共交通計画を策定する。
- 市営バスの車両計画策定に合わせて、環境へ配慮した車両選定に努める。
- バイオガス発電事業及び市有地への太陽光発電設備の整備事業(PPA)の工事に着手する。

Topics 令和6年5月に環境省の「脱炭素重点対策実施地域」に選定されました

目 次

第4次長井市環境基本計画

第4次長井市環境基本計画の施策体系	1
環境目標1 地球温暖化への対応	3
環境アクション① 電気や水を大切に使う	
環境アクション② 再生可能エネルギーを取り入れよう	
環境目標2 循環型社会の展開	5
環境アクション③ 廃棄物をなくそう	
環境アクション④ 分別を徹底しよう	
環境アクション⑤ 資源を循環させよう	
環境目標3 安全安心な生活環境の保全	8
環境アクション⑥ 住み心地の良いまちにしよう	
環境アクション⑦ きれいな川を守ろう	
環境目標4 多様で豊かな自然環境の継承	11
環境アクション⑧ 豊かな自然環境を大切にしよう	
環境目標5 環境学習の推進	14
環境アクション⑨ 環境について考えよう	
環境アクション⑩ みんなで一緒に取り組もう	
地球温暖化対策実行計画 区域施策編	17
温室効果ガス排出量、各部門における省エネルギー活動、 再生可能エネルギーの導入・拡大、森林吸収量の確保に向けた取組み	
地球温暖化対策実行計画 事務事業編	25
温室効果ガス排出量、エネルギー種別毎の削減に向けた取組み、 電力排出係数の削減に向けた取組み	

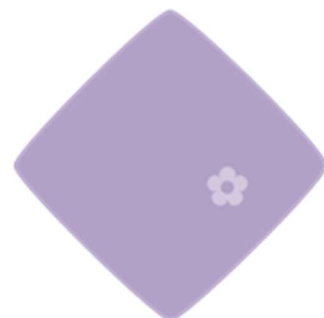
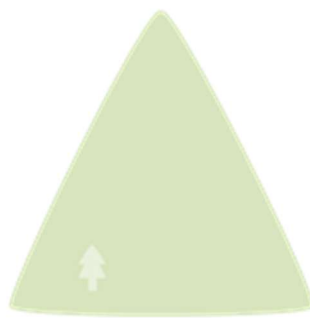
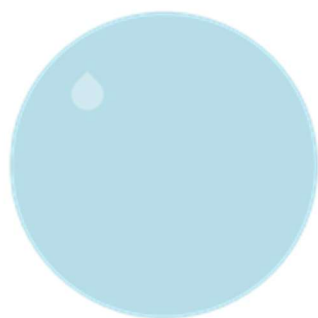
第 4 次

長 井 市

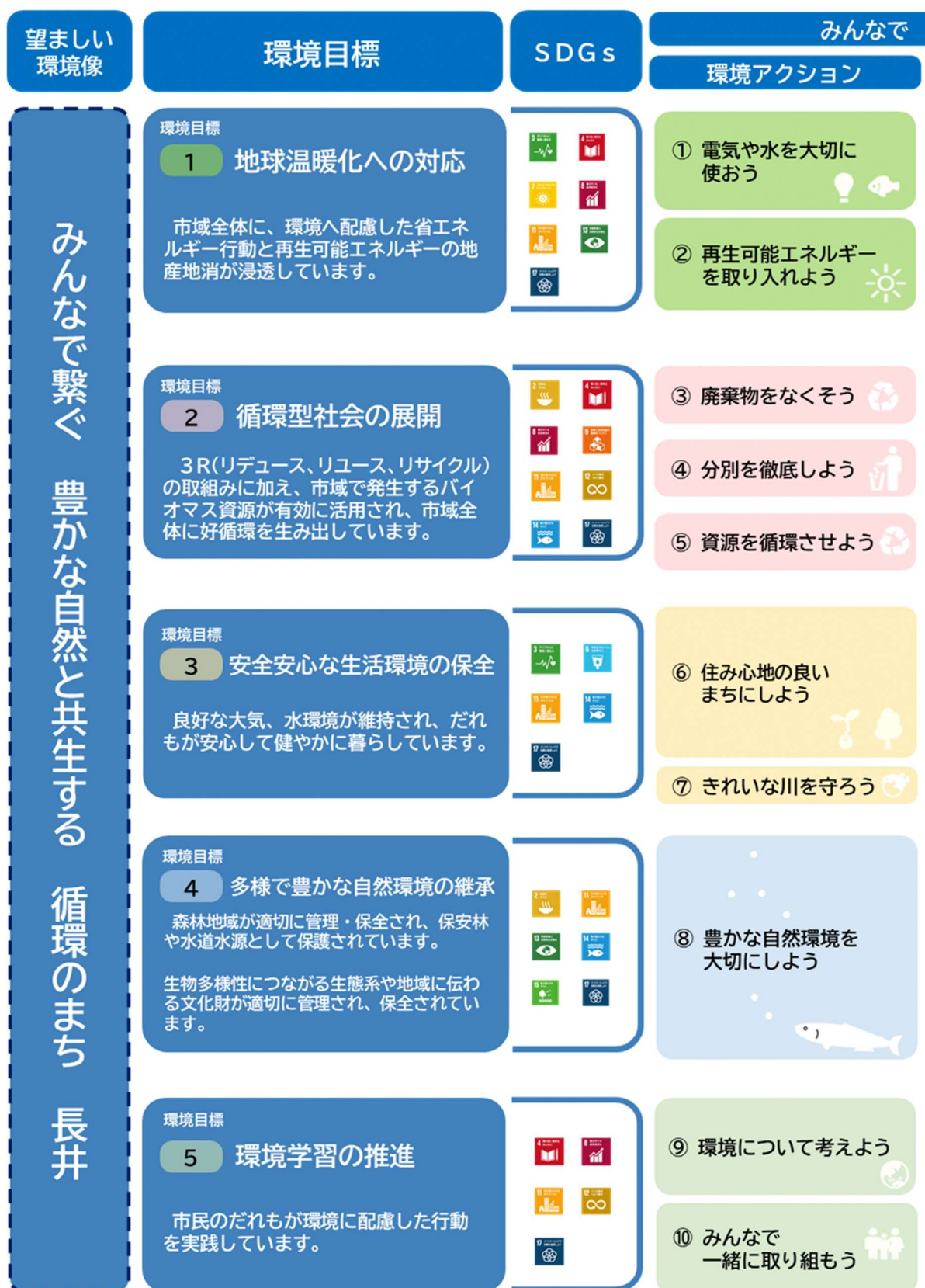
環 境 基 本 計 画

環 境 目 標 1 ～ 5

Nagai City Environment Master Plan



第4次長井市環境基本計画の施策体系



取り組む環境アクション

市の施策

省エネルギーの推進

- ・市の事務事業における温室効果ガス排出量を抑制します。
- ・市民に向けて省エネにつながるライフスタイルを提案します。
- ・事業所での省エネ診断を推進します。
- ・公共交通の利便性を高め、利用の推進を図ります。

再生可能エネルギーの推進

- ・再生可能エネルギーを活用したエネルギーの創出に取り組みます。
- ・再生可能エネルギー由来の電力の購入・活用を推進します。
- ・学校教育施設においてエネルギーの見える化を行い、環境学習を推進します。など

廃棄物の削減

- ・毎年度「一般廃棄物処理実施計画」を策定し、市民に適切なごみの分別と減量化を呼びかけます。
- ・食品ロス削減のため、フードドライブを実施します。など

リサイクル率の向上

- ・市民が分別に取り組みやすいよう、分かりやすい情報提供に努めます。
- ・有価物集団回収による再資源化を促進するとともに、持続的な集団回収の在り方を検討します。など

資源循環の推進

- ・生ごみや食品残渣等のバイオマス資源を堆肥や液肥に変えて、持続的な農業を推進します。など

公害等の発生防止

- ・大気中におけるダイオキシン類のモニタリングを継続します。など

廃棄物の適正な処理

- ・不法投棄監視の巡回パトロールを実施し、モラル向上を啓発します。など

空き家の適正な管理

- ・危険な空き家等は所有者へ除却を促します。など

憩いの場の創出

- ・河川空間の利活用や親水空間の整備により市民の憩いの場を創出します。など

水環境の保全

- ・台所などからの汚濁負荷を低減するための方法など、水環境の保全について市民に広報します。など

森林の保全

- ・市行造林や公社造林を継続し、森林地域を保全します。など

農地等の保全

- ・循環を基調とした環境保全型農業を推進します。など

水道水源の保護

- ・良質な水質を維持するために、水道水源の保護に努めます。など

生物多様性の保全

- ・野生動物との棲み分けのため、緩衝地帯となる里山の保全を図ります。
- ・天然記念物の保護を推進します。など

歴史文化遺産の継承など

- ・長井市文化財保存活用地域計画作成と運用により、史跡・天然記念物の保全を推進します。
- ・自然とのふれあいの場の整備と適正な管理を行います。など

環境学習の機会の提供

- ・市民に向けて環境保全やSDGsに関する学習の機会を創出します。
- ・市民や事業者とともに情報交換や環境に対する意識醸成の場を創出します。など

環境保全活動の推進

- ・市民の自主的な環境保全活動を支援します。
- ・環境に配慮した事業活動を支援します。
- ・花いっぱい運動や河川清掃など、より多くの市民が参加したくなる活動方法を検討します。など

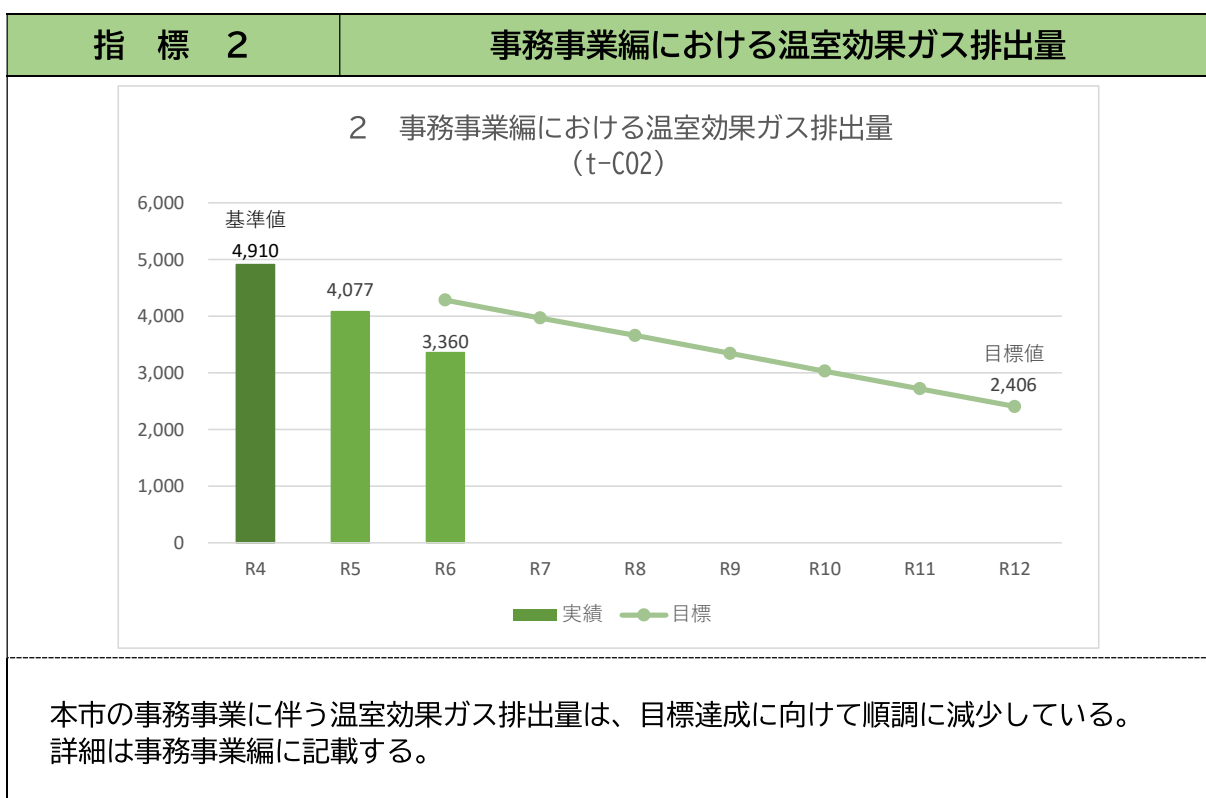
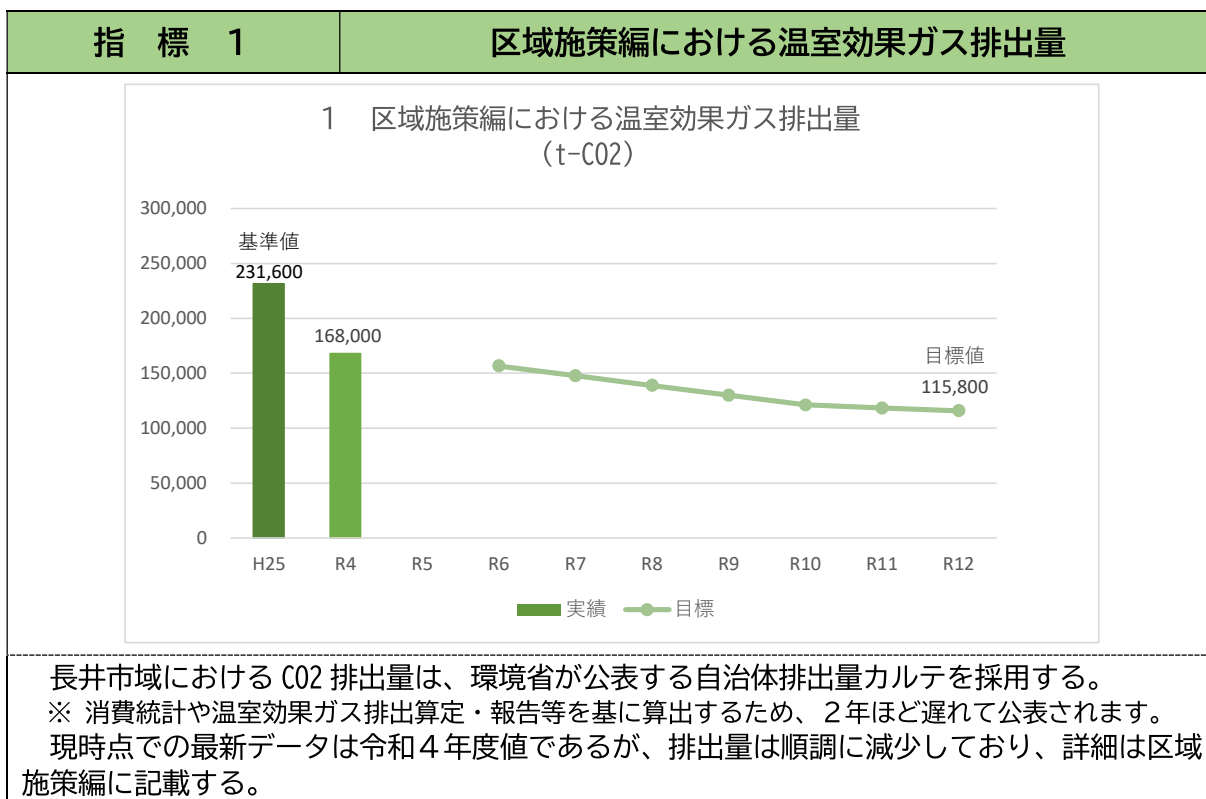
環境目標 1 地球温暖化への対応



【目指す市の姿】

市域全体に、環境へ配慮した省エネルギー行動と再生可能エネルギーの地産地消が浸透しています。

【数値目標の進捗状況】



■ R6 年度の主な取組み

みんなで取り組む環境アクション！

- ① 電気や水を大切に使う
- ② 再生可能エネルギーを取り入れよう

市の施策：省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの推進

- ・ 環境省の「脱炭素重点対策実施地域」に選定されたことから、再エネ推進交付金を活用した「地域脱炭素プラン推進事業費補助金」を創設。
- ・ 個人、事業者向けの再エネ・省エネ設備導入に対する間接補助額を大幅に拡充した。
- ・ 脱炭素経営セミナー2024 を開催し、省エネ診断を起点とした脱炭素経営のメリットを周知した。
- ・ 地域新電力と連携し、地域の再エネ 100%電力を使用している市内全小中学校（8 校）に「電力の見える化システム」を実証導入し、電力の地産地消を広く周知した。
- ・ 市報やタブロイド誌により、環境アクションや脱炭素の暮らしのメリットを周知した。
- ・ 生ごみを原料としたバイオガス発電事業や、給食共同調理場に隣接する市有地への太陽光発電設備の整備事業（PPA）に着手し、調査及び配置設計を行った。



■ R7 年度以降の方針、課題

- ・ 市の率先実行として、再エネ電力の地産地消を推進する。
- ・ 市報やチラシにより、脱炭素の暮らしのメリットについて、周知啓発を継続する。
- ・ 自家消費型太陽光発電設備の普及が課題であるため、周知啓発を強化する。
- ・ 脱炭素経営セミナーを継続し、省エネ診断を起点とした脱炭素経営のメリットや、補助金の有効活用について、積極的な周知を行う。
- ・ 公共交通の利便性を高めるため、市独自の公共交通計画を策定する。
- ・ 市営バスの車両計画策定に合わせて、環境へ配慮した車両選定に努める。
- ・ バイオガス発電事業及び市有地への太陽光発電設備の整備事業（PPA）の工事に着手する。



Topics

令和 6 年 5 月に環境省の「脱炭素重点対策実施地域」に選定されました



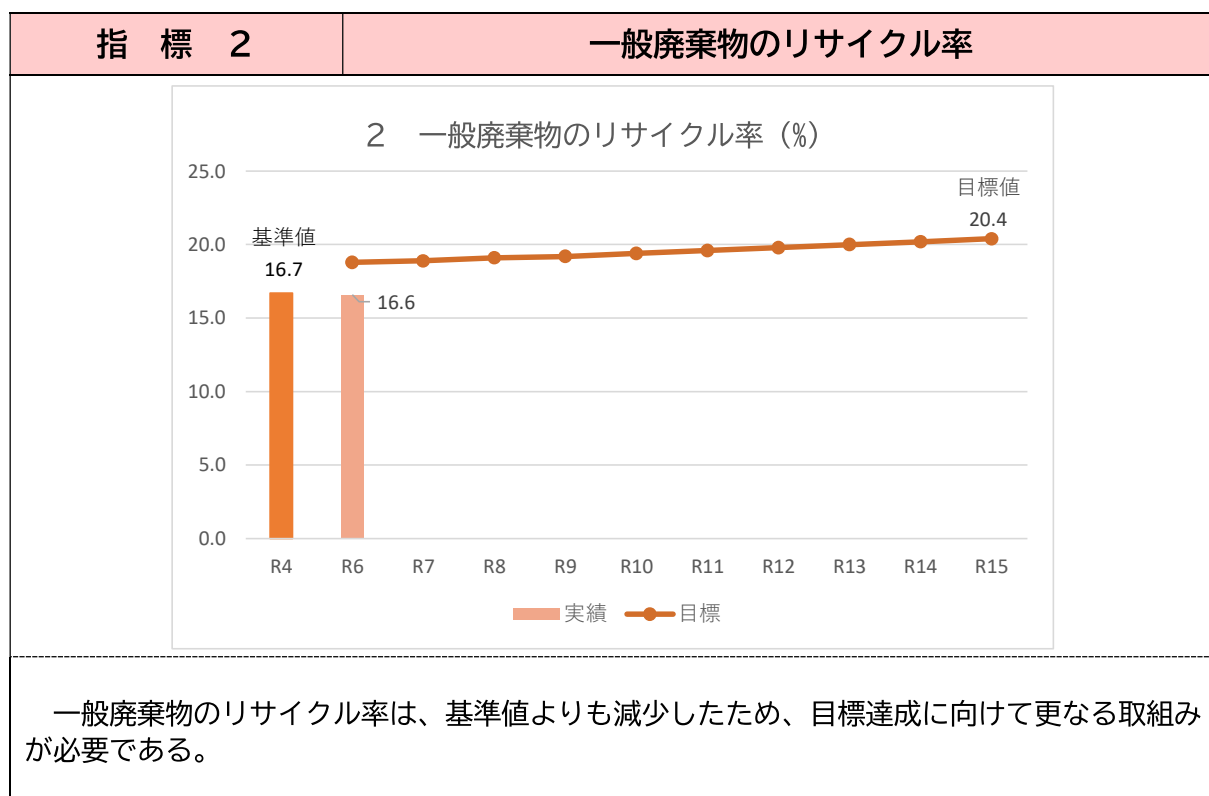
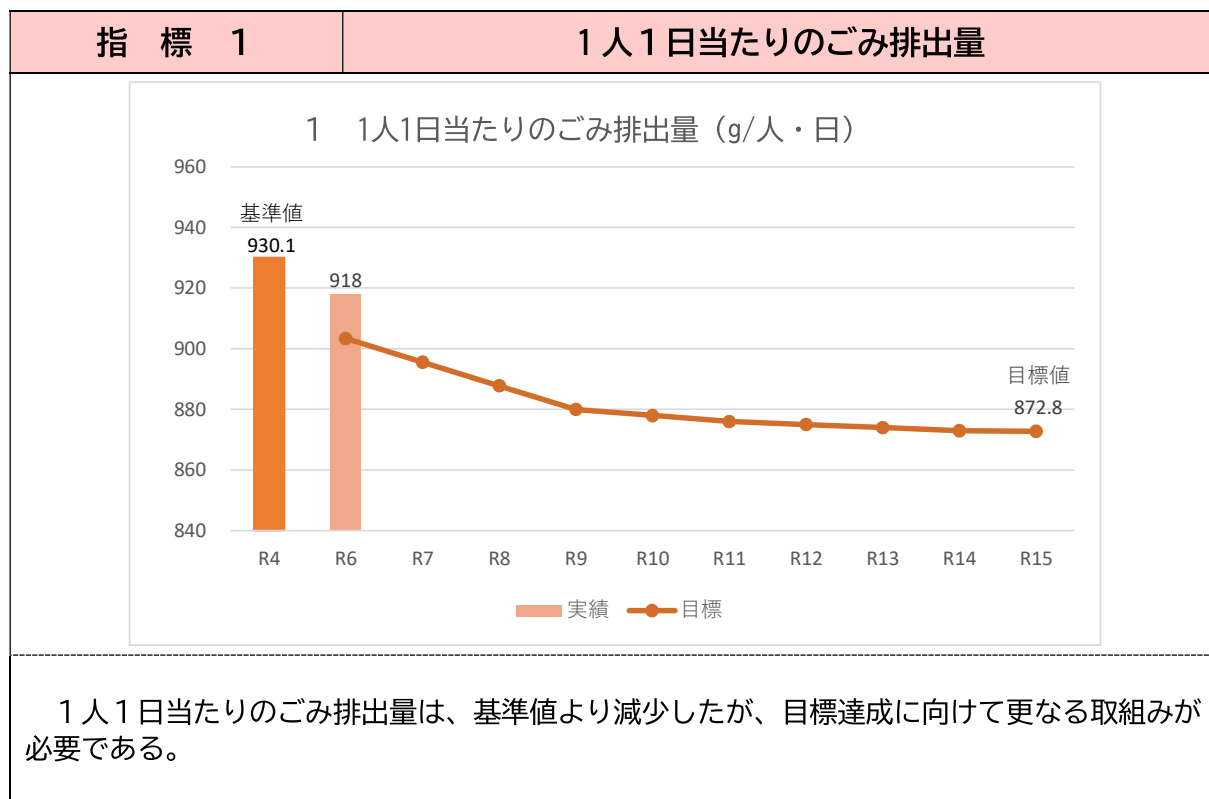
環境目標２ 循環型社会の展開



【目指す市の姿】

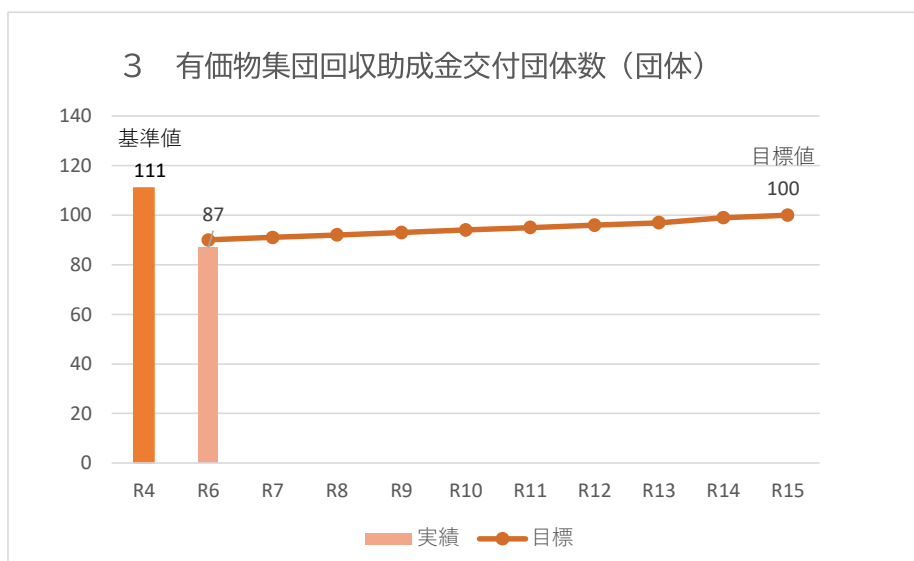
３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）の取組みに加え、市域で発生するバイオマス資源が有効に活用され、市域全体に好循環を生み出しています。

【数値目標の進捗状況】



指 標 3

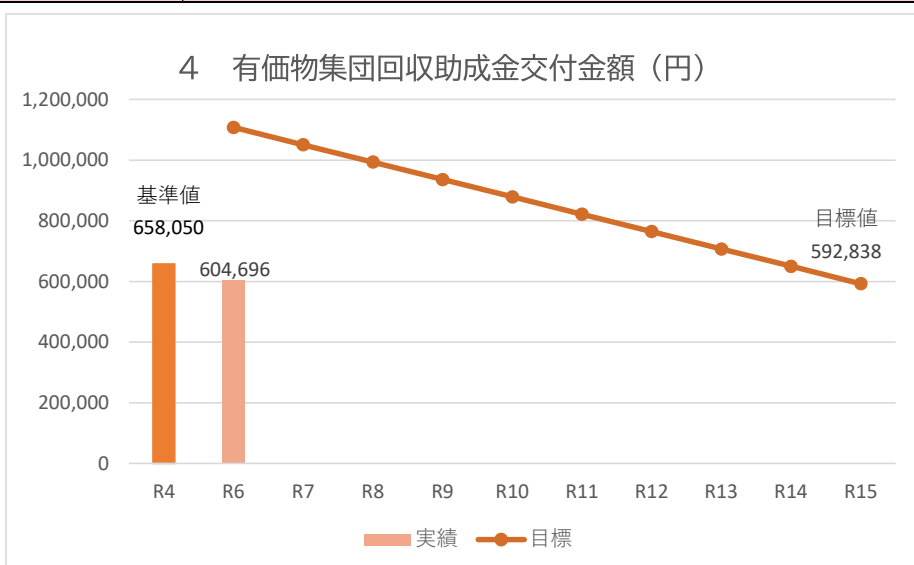
有価物集団回収助成金交付団体数



有価物集団回収助成金交付団体数は、子供会育成会等の活動が縮小傾向にあるため、基準値よりも減少している。目標達成に向けて更なる取組みが必要である。

指 標 4

有価物集団回収助成金交付金額



有価物集団回収助成金交付金額は、基準値よりも減少したため、目標達成に向けて更なる取組みが必要である。

■ R6 年度の主な取組み

みんなで取り組む環境アクション！

- ③ 廃棄物をなくそう
- ④ 分別を徹底しよう
- ⑤ 資源を循環させよう

市の施策：廃棄物の削減、リサイクル率の向上、資源循環の推進

- ・ 長井市ごみ処理基本計画を策定し、ごみ排出量の把握に努めるとともに、保健カレンダーや市 HP での情報発信により、分別方法やごみの出し方について周知を図った。
- ・ 小型家電回収の対象機器を拡大し、不燃ごみの排出抑制につなげた。
※ 電子レンジ、オーブントースター、ミキサー、炊飯器ドライヤー、扇風機など
- ・ 集団資源回収を促進するため、集団回収の必要性の周知と実施の喚起に努めた。
- ・ 再資源化ごみの収集について広く周知し、リサイクル率向上を図った。
- ・ レインボープランにより中央地区の家庭生ごみ堆肥化、資源循環を継続して行った。
- ・ 堆肥化施設の老朽化等を受け、現代のライフスタイルや社会課題対応した持続可能な資源循環の起点となる、バイオガス発電設備事業に着手した。

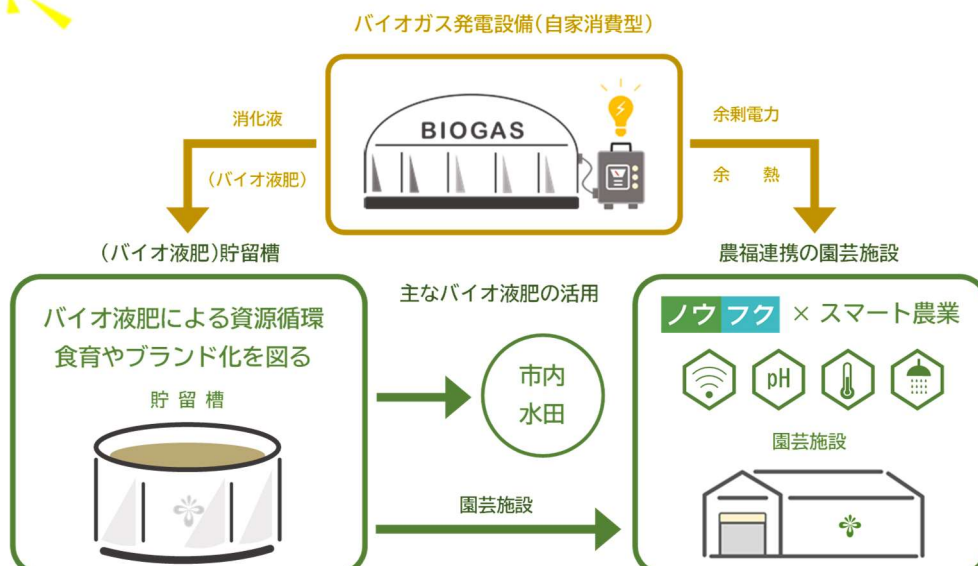


■ R7 年度以降の方針、課題

- ・ 数値目標すべてにおいて、目標達成に向けた取組みの継続と強化が必要である。
- ・ ごみ削減ポスターコンクールを継続し、市民への意識付けや注意喚起につなげる。
- ・ 小型家電回収は、排出者の利便性を高めるため、市庁舎前駐車場を利用したドライブスルー方式を継続する。
- ・ 廃食油を活用する取組みを支援するとともに、古着等の古布類の回収についても強化するし、リサイクル率の向上を図る。
- ・ バイオガス発電設備整備の工事に着手する際、改めて家庭生ごみの分別及び資源循環について、全体構想と合わせて周知を強化する。



バイオガス発電設備整備事業の全体構想



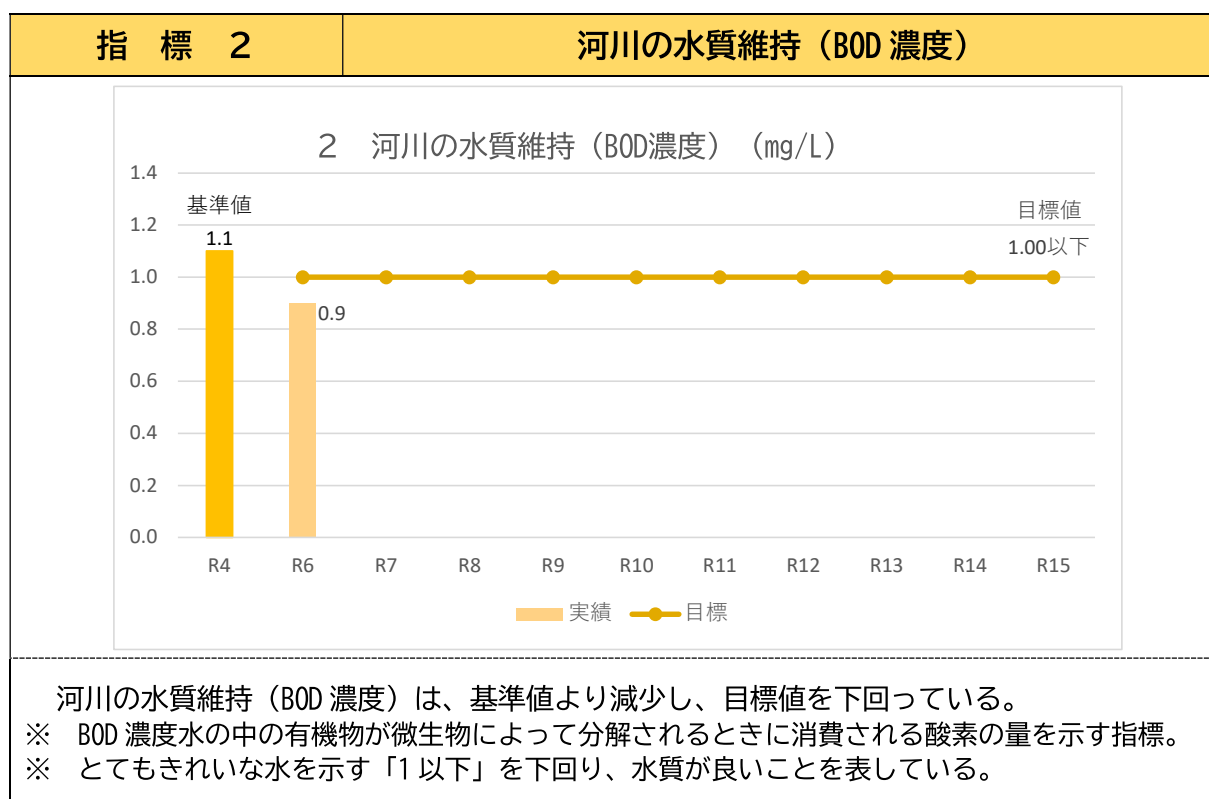
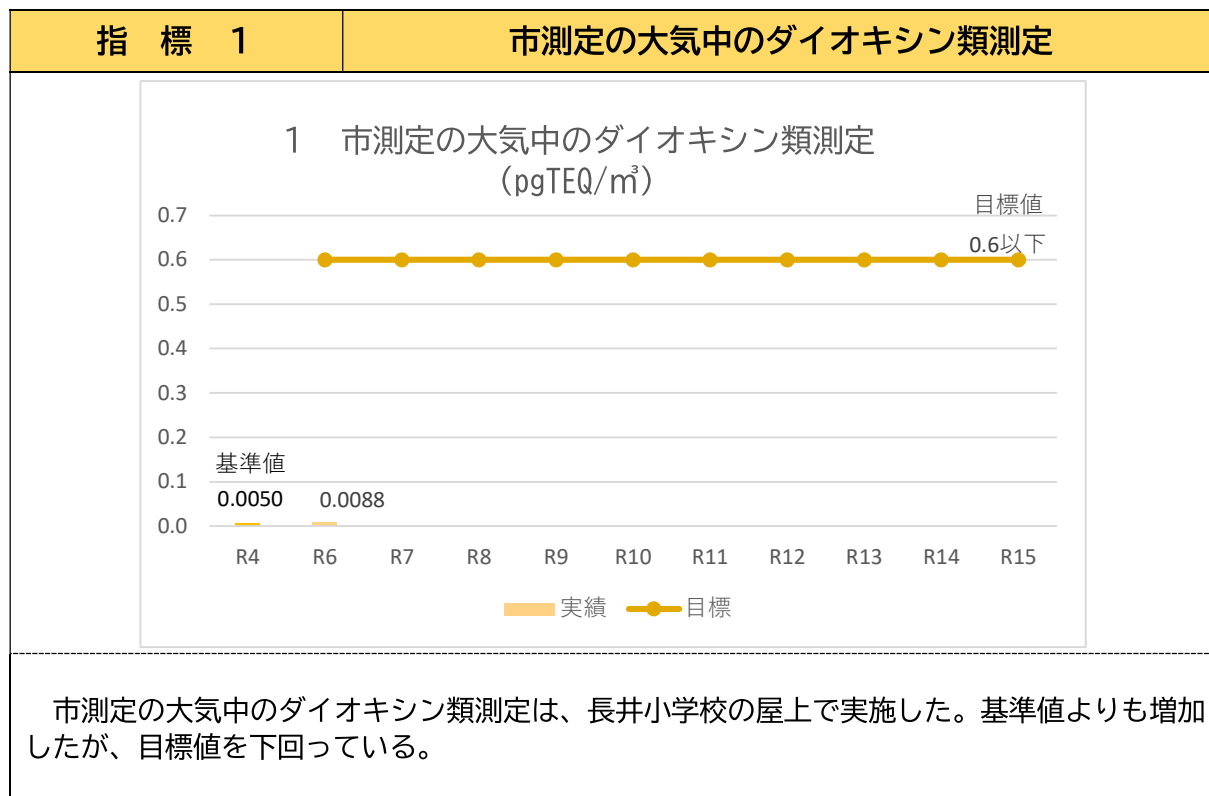
環境目標3 安全安心な生活環境の保全



【目指す市の姿】

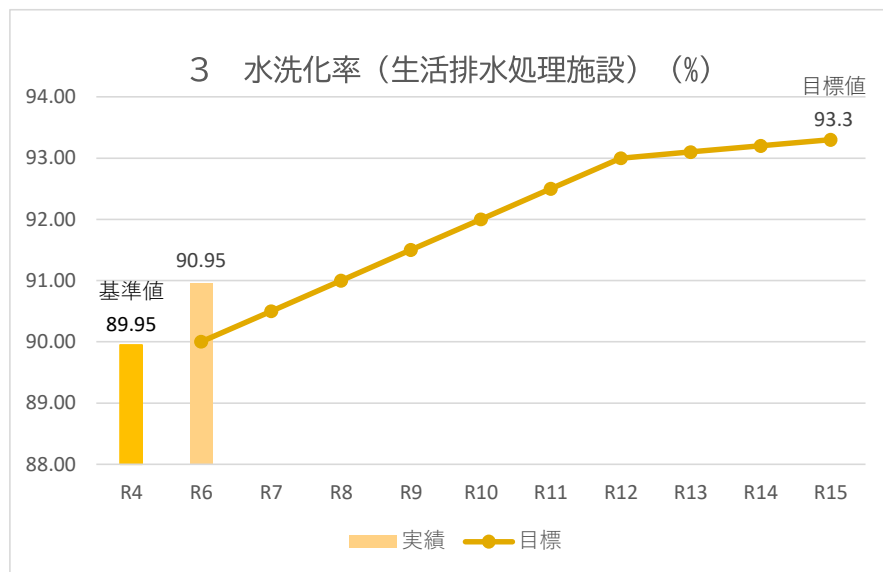
良好な大気、水環境が維持され、だれもが安心して健やかに暮らしています。

【数値目標の進捗状況】



指 標 3

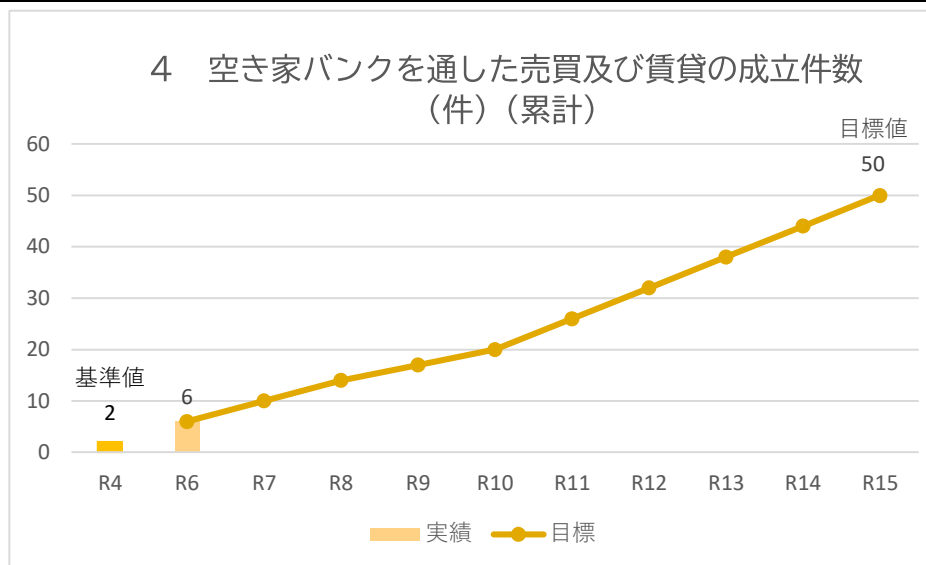
水洗化率（生活排水処理施設）



水洗化率は、公衆衛生や環境保全に対する意識が高まったこと、トイレなど住宅設備が進化したこと等が要因となり、基準値より増加した。

指 標 4

空き家バンクを通した売買及び賃貸の成立件数（累計）



空き家バンクを通した売買及び賃貸の成立件数は、令和5年度に空き家・空き店舗の利活用を図る専門人材（地域おこし協力隊）が着任したことが要因となり、基準値より増加した。

■ R6 年度の主な取り組み

みんなで取り組む環境アクション！

- ⑥ 住み心地の良いまちにしよう
- ⑦ きれいな川を守ろう

市の施策： 公害の発生防止、廃棄物の適正な処理、空き家の適正な管理、憩いの場の創出、水環境の保全

- ・ 置賜地区不法投棄防止対策協議会と連携し、年2回のパトロールを実施したほか、必要な箇所への看板設置やチラシの配布等を通じて再発防止対策を講じた。
- ・ 家畜排泄物については、関係機関と連携し、防疫注射時に適切な処理について指導を行った。
- ・ 空き家相談のチラシ配布をきっかけに相談件数が増加し、空き家バンクへの登録件数が大幅に伸びた。
- ・ 危険空き家の所有者に対して、除却を促したほか、空き家バンクに市内の空き家情報を掲載し、空き家の利用促進を図った。
- ・ 都市公園の適切な環境保全を実施した。
- ・ 「白川きらりふるさと河川公園」、「こいで河川公園」及び「ふれあいの水辺河川公園」の供用により、市民に憩いの場を提供した。
- ・ 油流出による水質事故防止について市 HP や広報誌へ掲載して住民周知を図った。
- ・ 特定環境保全公共下水道区域の未接続世帯を対象に「下水道への接続に関するアンケート」を実施し、下水道に対する意向を分析した。



■ R7 年度以降の方針、課題

- ・ 平成24年からダイオキシン測定を実施し、影響なく推移しているため、測定頻度を毎年実施から隔年実施で検討している。次回実施は令和9年を予定。
- ・ 公害の発生防止や廃棄物の適正な処理について、関係機関と連携して適切な指導を行う。
- ・ 危険空き家の所有者に対しては除却を促していくとともに、空き家バンクを活用した空き家の利用促進を継続する。
- ・ 下水道に関するアンケート結果（令和6年度）をもとに、未加入世帯に対して戸別訪問などを実施する。

環境目標4 多様で豊かな自然環境の継承

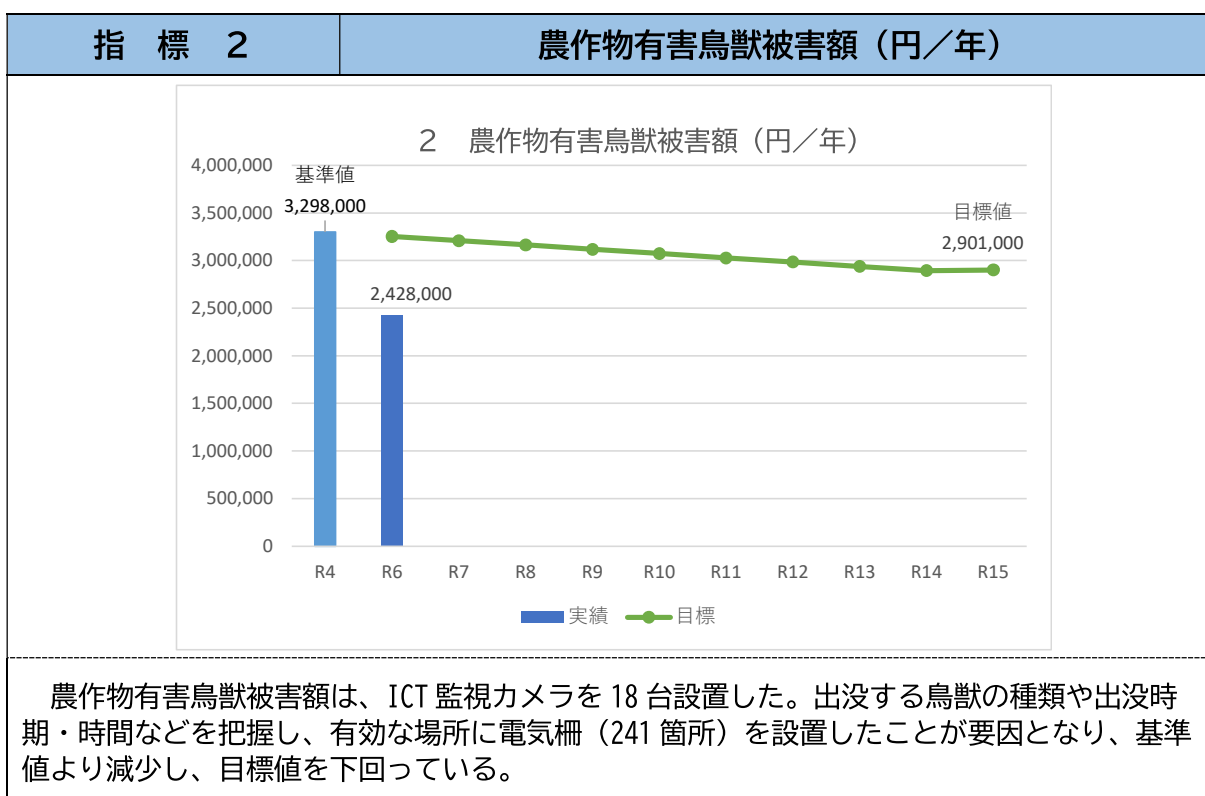
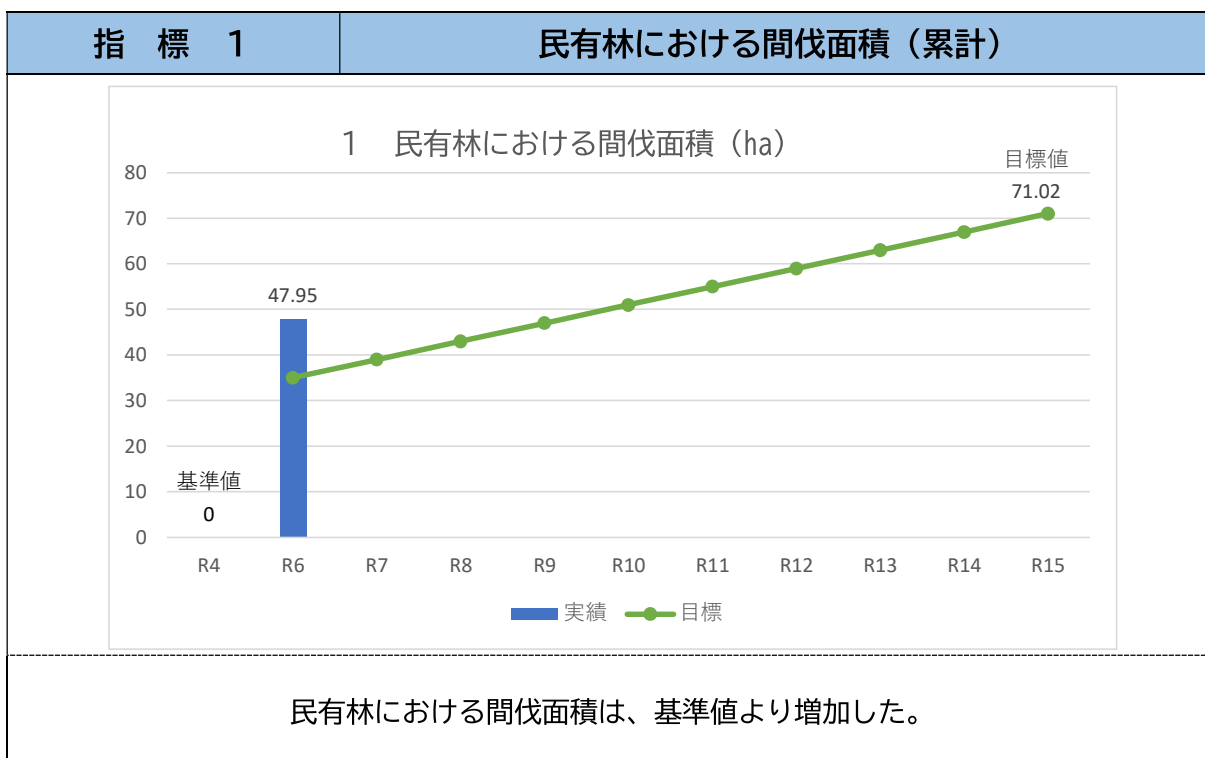


【目指す市の姿】

森林地域が適切に管理・保全され、保安林や水道水源として保護されています。

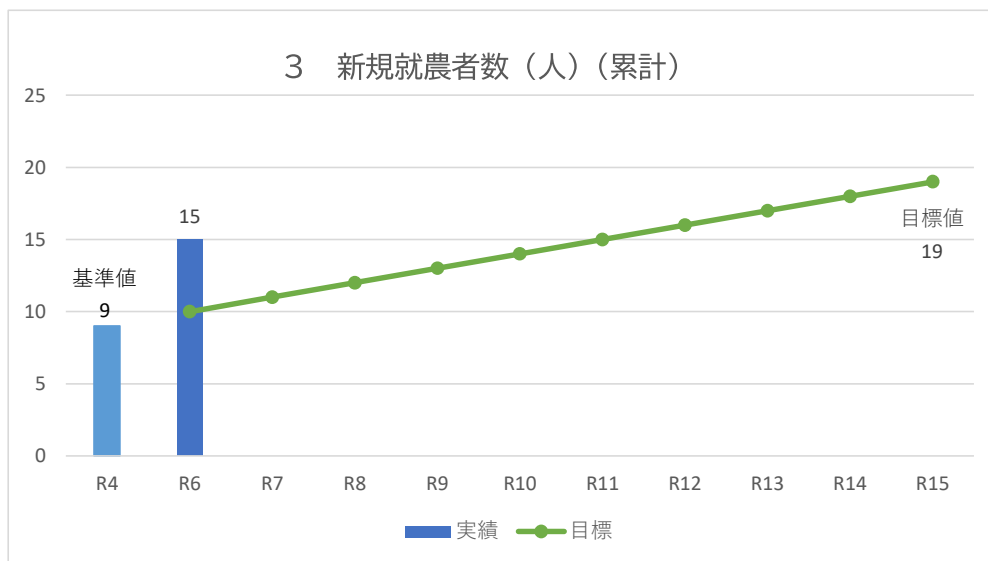
生物多様性につながる生態系や地域に伝わる文化財が適切に管理され、保全されています。

【数値目標の進捗状況】



指 標 3

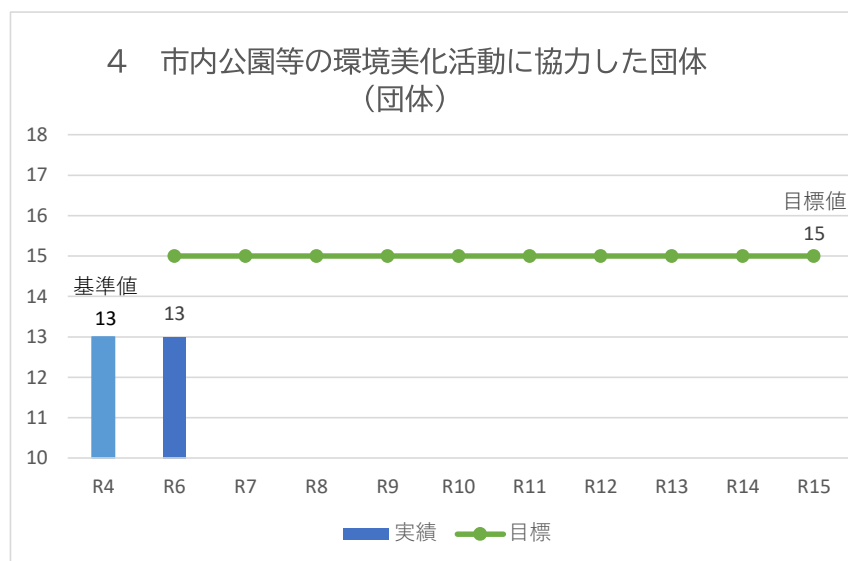
新規就農者数（累計）



新規就農者数は、首都圏で開催された「新・農業人フェア」への出展や農業研修生等受入協議会と連携した農業体験などの手厚いサポートが要因となり、基準値より増加した。

指 標 4

市内公園等の環境美化活動に協力した団体



市内公園等の環境美化活動に協力した団体は、基準値と同値であり、目標達成に向けて更なる取組が必要である。

■ R6 年度の主な取り組み

みんなで取り組む環境アクション！

⑧ 豊かな自然環境を大切にしよう

市の施策： 森林の保全、農地等の保全、水道水源の保護、生物多様性の保全
歴史文化遺産の継承、その他（自然とのふれあいに関すること）

【森林の保全】

- ・ やまがた緑環境税を活用し、みどり豊かな森林環境づくり推進事業により水と緑の感謝祭を実施した。（開催日 … R6.6.23、事業内容 … 植樹活動）
- ・ 手入れがされていない森林の管理を進めるため、森林経営管理制度による森林施業に着手した。令和6年度は、市の実施方針を作成し、モデル地区の選定及び当該地区の森林境界明確化を進めるための準備を行った。

【農地等の保全】

- ・ 環境保全型農業直接支払い交付金を活用し、環境保全型農業を推進した。
（実施面積 … 34,321a）

【水道水源の保護】

- ・ 水源、浄水場、取水口において水質を定期的に検査し、安全性を確認するとともに、水道施設の日々の巡視により、異常の早期発見に努めた。

【生物多様性の保全】

- ・ 荒廃森林緊急整備事業により里山林整備＝7.81haを実施。
（事業箇所 … 上伊佐沢～中伊佐沢、事業内容 … 下刈、除伐、枯損木伐倒）

【歴史文化遺産の継承】

- ・ 歴史文化の普及を推進するため、デジタルアーカイブ及び特設ページを開設した。

【その他（自然とのふれあいに関すること）】

- ・ まち歩き関係団体と合同でのゴミ拾いや、国・県との安全点検等を通して、フットパスや河川公園の管理を適切に行い、自然に触れられる環境の整備に努めた。
- ・ あやめ公園でガーデニング講習会を開催するなど、公園に親しむ機会を設けた。



■ R7 年度以降の方針、課題

- ・ 近年の発電関連事業等による乱開発防止のため、市内全ての民有林に対して、山形県水資源保全条例に基づく水資源保全地域への指定を検討する。
- ・ 市行造林や公社造林を継続し、森林地域を保全する。
- ・ 環境に配慮しながら、松くい虫などの病虫害駆除を行う。
- ・ 文化財の普及に努めるため、デジタルアーカイブに掲載する資料、特設ページのコンテンツ掲載数を増やす。
- ・ 公園長寿命化計画を適宜更新しながら、劣化状況により施設の維持修繕を進める。
- ・ 市内公園等の環境美化活動について、県や外部団体等の表彰制度を活用するなど、裾野を広げる取り組みを行う。

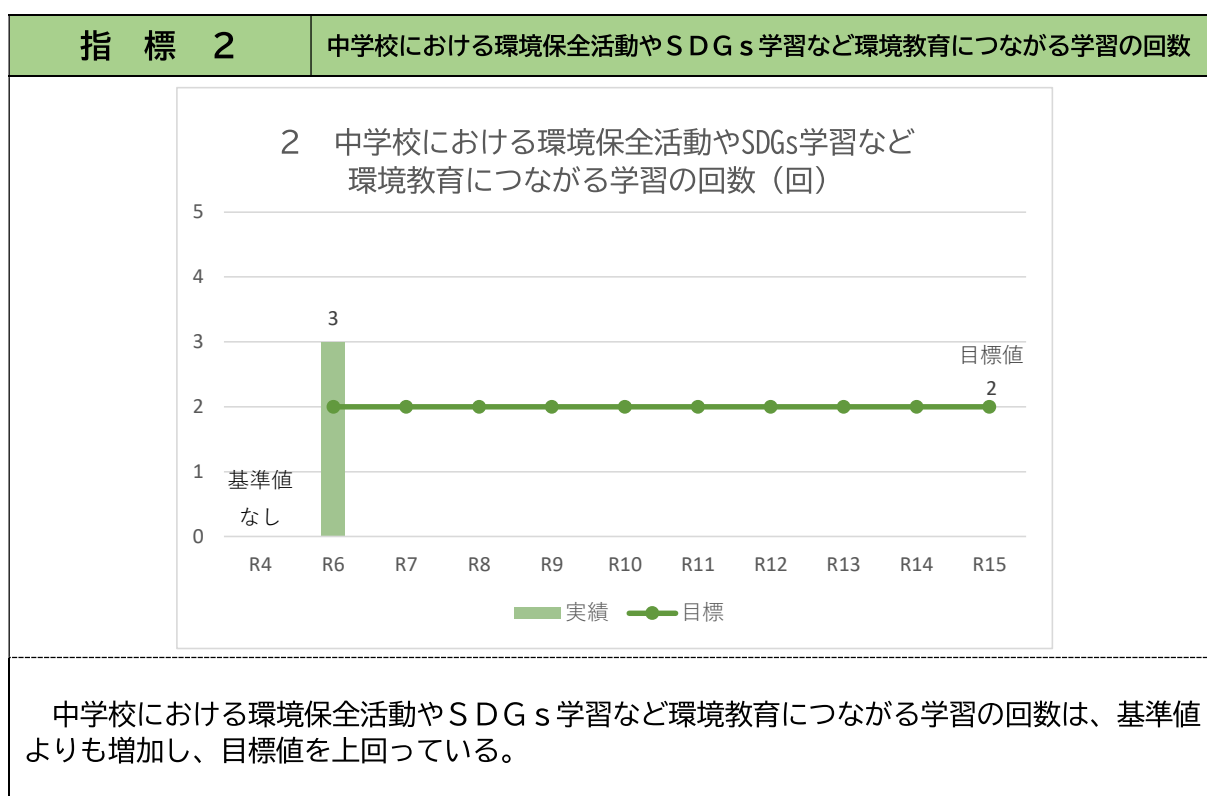
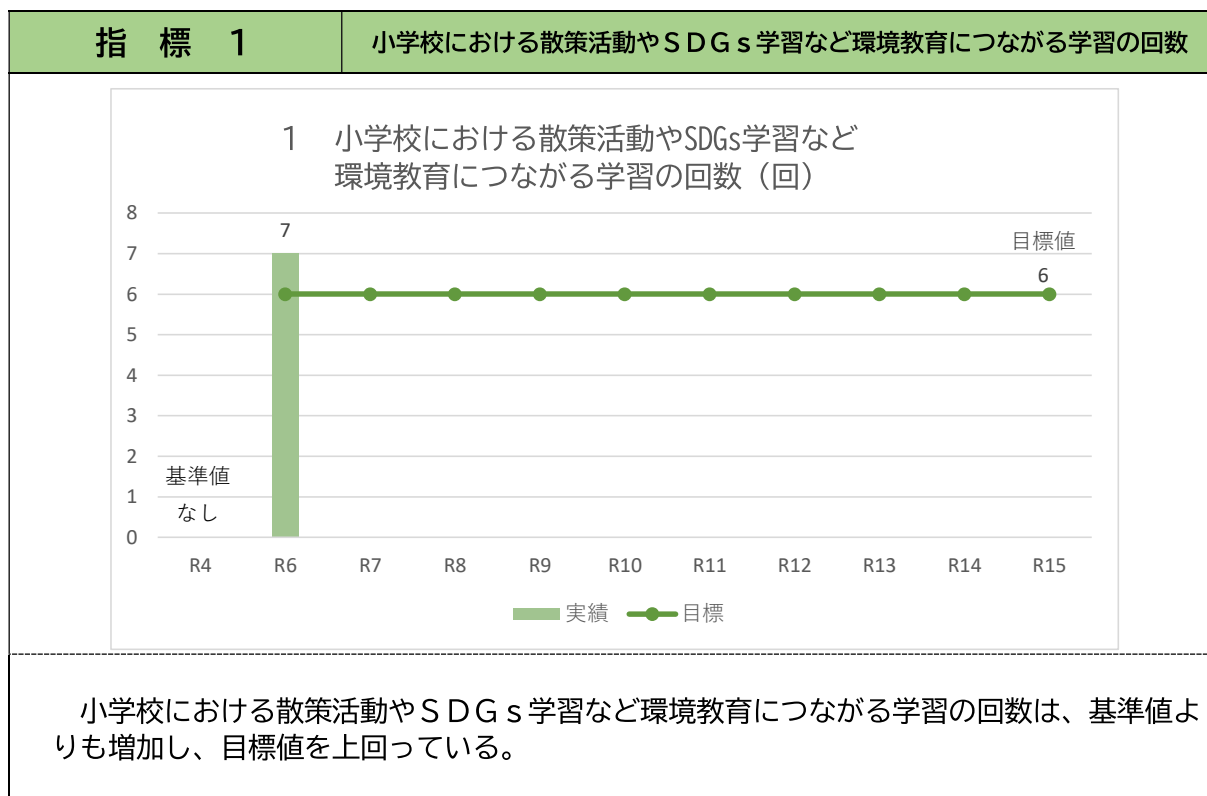
環境目標5 環境学習の推進

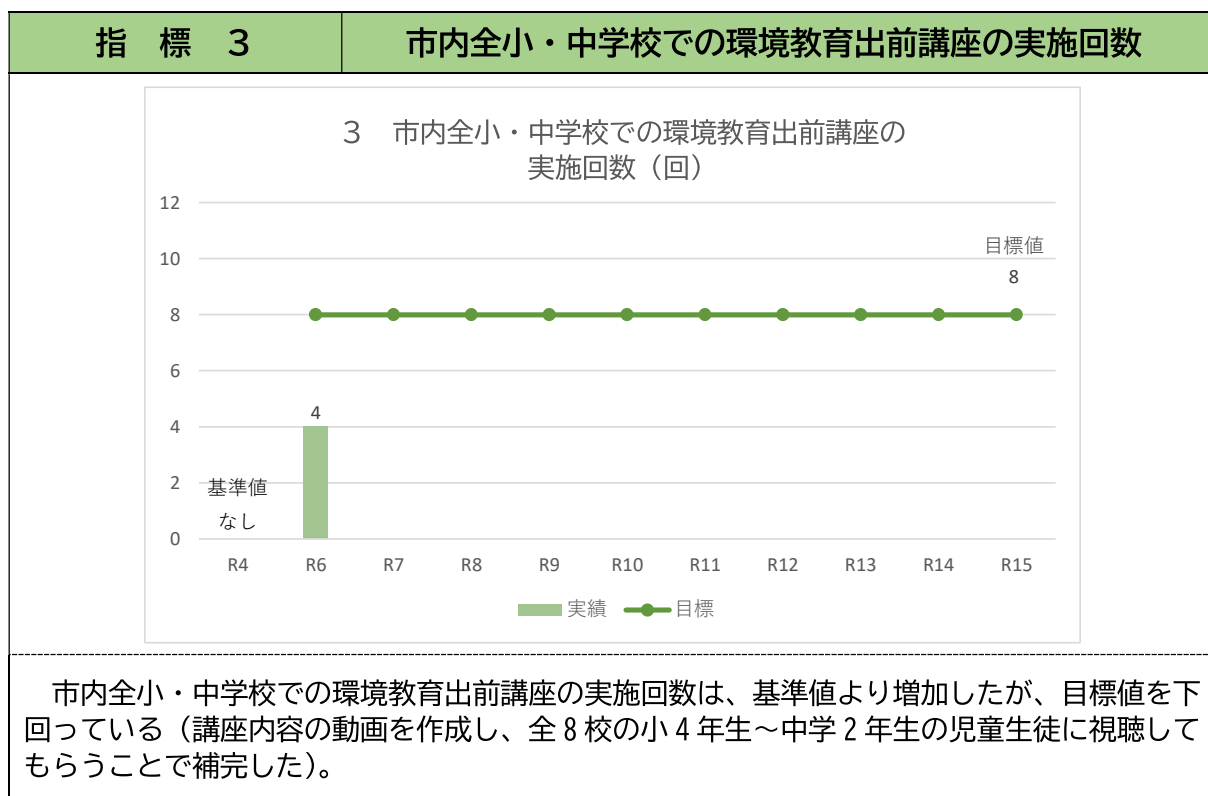


【目指す市の姿】

市民のだれもが環境に配慮した行動を実践しています。

【数値目標の進捗状況】





Topics

令和6年度 長井市環境教室出前講座（動画編／公開版）



（動画QRコード）



■ R6 年度の主な取り組み

みんなで取り組む環境アクション！

⑨ 環境について考えよう

⑩ みんなで一緒に取り組もう

市の施策：環境学習の機会の提供・環境保全活動の推進

- ・ 環境問題を自分事として捉え、行動するきっかけづくりを目的とした環境教室出前講座及び動画の配布を行った。
- ・ 小学校では5学年次に飯豊少年自然の家で体験学習を実施した。
- ・ 中学校では教科学習の中で環境について学を深めた。
- ・ チラシやタブロイド誌を通じて「脱炭素の暮らしのメリット」を掲載したほか、市報でも環境アクションにつながるコラムを4回掲載した。
- ・ 脱炭素経営に向けた第一歩として、省エネルギー診断を受けることにより消費電力や燃料使用量を把握することの意義について広く啓発するため、中小企業アドバイザーを講師に迎え、脱炭素経営セミナー2024を開催した。
- ・ 水源地域の保全や自然を守る心を育むため、水と緑の感謝祭やながい百秋湖まつりを開催した。



■ R7 年度以降の方針、課題

- ・ 各学校で継続的に環境学習に取り組むほか、全小中学校で環境教室出前講座を実施する。
- ・ 脱炭素経営セミナーを継続し、事業者間の情報交換の場としても活用する。
- ・ 市報やHPなどを活用して積極的に情報発信を行う。
- ・ 関係機関と連携して、市民に向けた環境保全やSDGsに関する学習の機会を増やす。

Topics

脱炭素経営セミナー2024

中小企業・小規模企業者向け 令和6年度 長井市地域脱炭素プラン推進事業費補助金を申請又は申請を見込む事業者様は、ご参加をお願いします。


再エネ導入


省エネ


企業価値向上


人材獲得力向上



／ 参加 無料 ／

長井市脱炭素経営セミナー2024

- 第1部 脱炭素経営のメリットについて
独立行政法人 中小企業基盤整備機構 東北本部 中小企業アドバイザー 栗田 晃一 氏
- 第2部 省エネ診断の活用について
特定非営利活動法人 環境ネットやまがた 次長 長岡 修一 氏

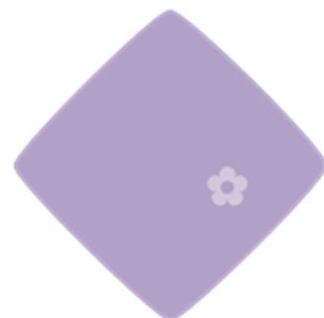
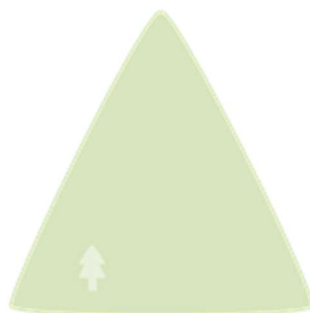
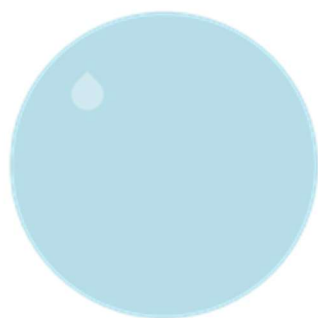


地 球 温 暖 化

対 策 実 行 計 画

区 域 施 策 編

Nagai City Environment Master Plan



【長井市地球温暖化対策実行計画 区域施策編の位置づけ】

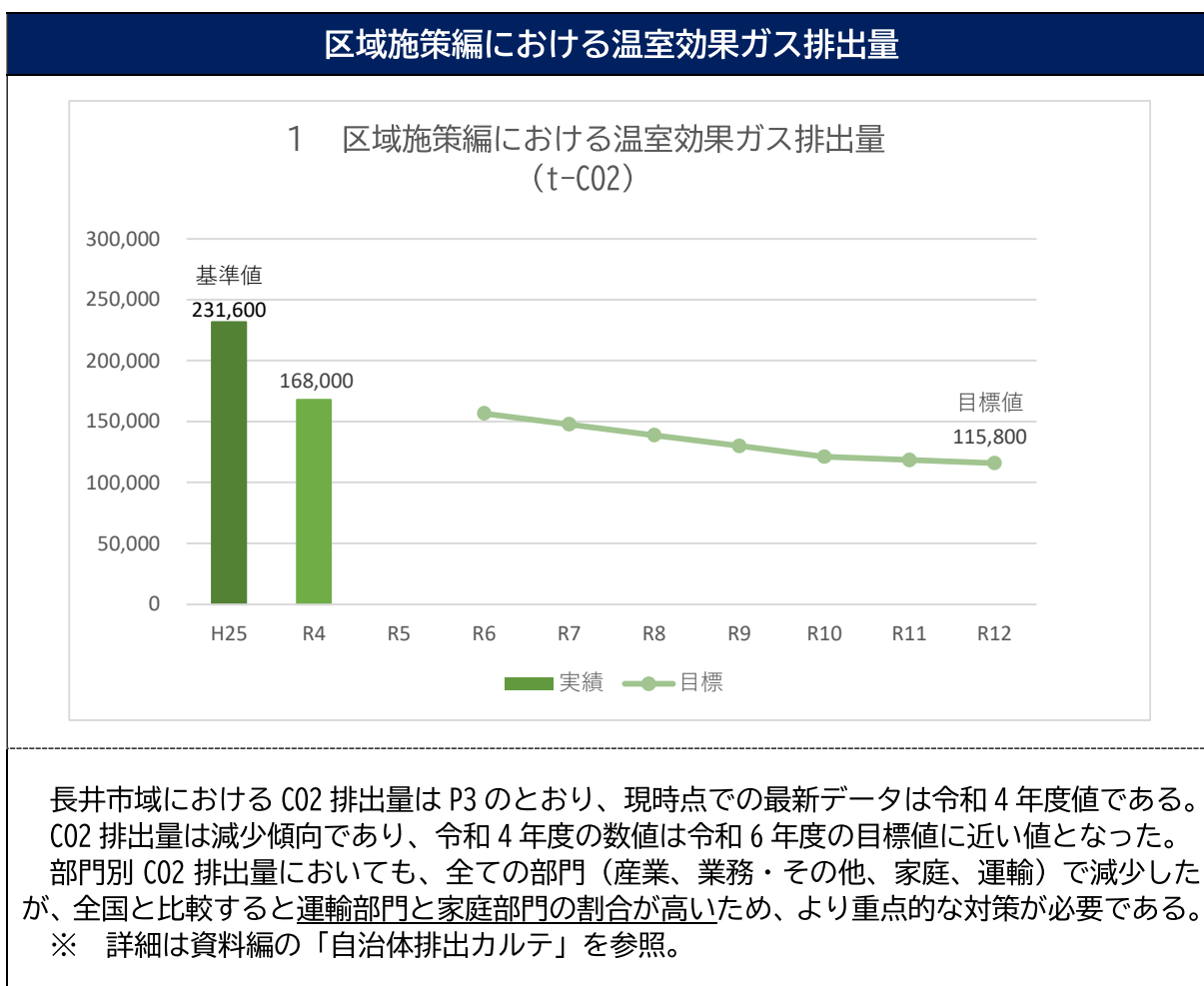
地球温暖化対策の推進に関する法律（平成 10 年法律第 117 号）第 19 条第 2 項に基づき、長井市を一つの「区域」として、温室効果ガスの排出を抑制するため、現状推計から施策に関する事項について定めたものです。

地球温暖化対策は、第 4 次長井市環境基本計画の取組みの柱であることから、一体のものとして策定しました。

【削減目標】

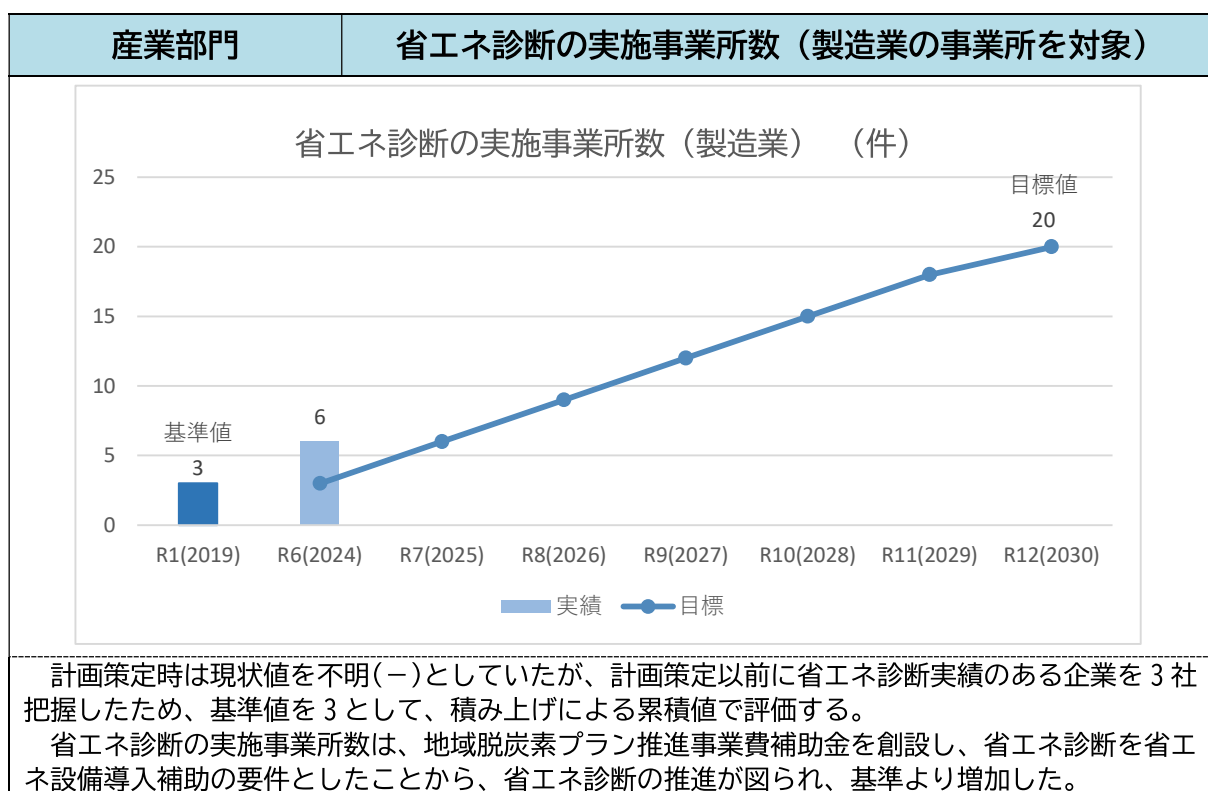


【削減目標の進捗状況】



各部門における省エネルギー活動

【数値目標の進捗状況】



■ R6 年度の主な取り組み

市の施策： 省エネ診断の普及啓発、省エネルギー設備等の導入促進補助制度の創設

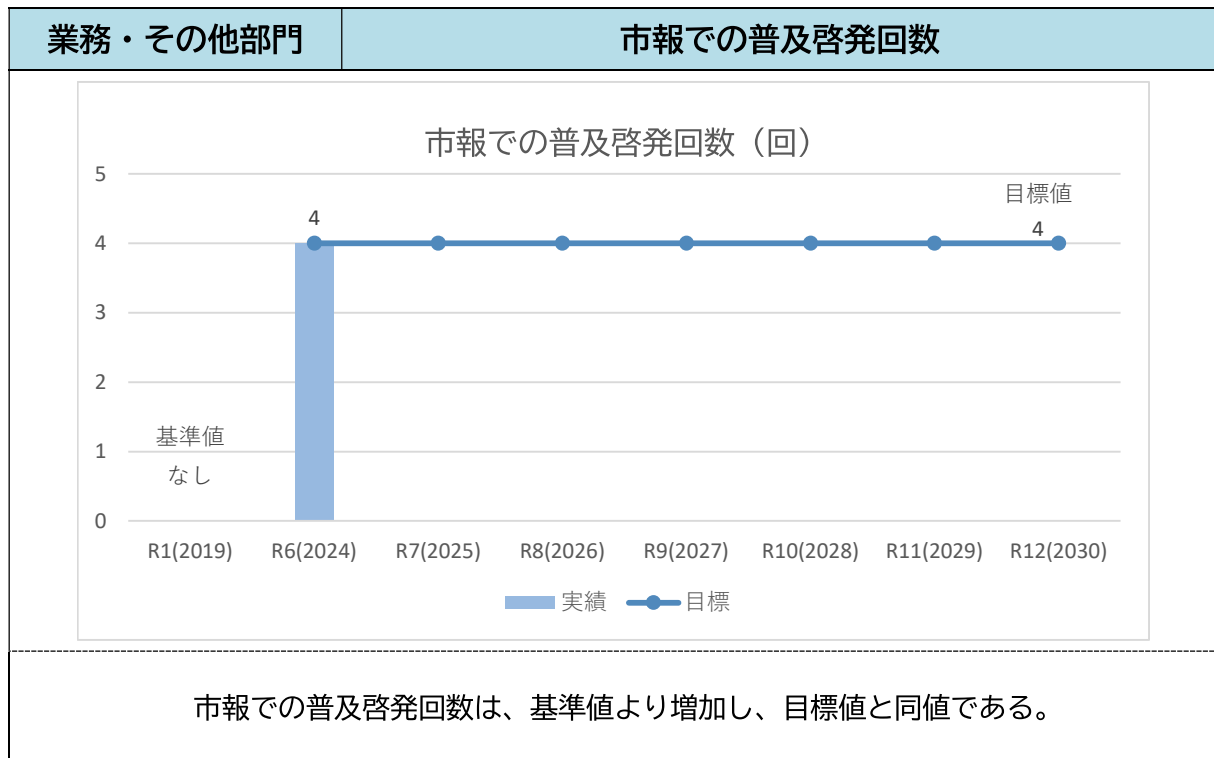
- ・ 地域脱炭素プラン推進事業費補助金を創設し、省エネ設備（高効率空調機器、高効率照明機器）について、県内の基礎自治体では最高額で間接補助を実施した。
- ・ 脱炭素経営に向けた第一歩として、脱炭素経営のメリットや省エネ診断を起点としたエネルギー使用量の把握と改善を広く啓発するため、中小企業アドバイザーを講師に迎え、脱炭素セミナー2024を開催した。



■ R7 年度以降の方針、課題

- ・ 地域脱炭素プラン推進事業費補助金の継続した周知を実施する。
- ・ 脱炭素経営セミナーを継続し、徹底した省エネから設備更新、再エネ導入までの脱炭素経営を広く周知するとともに、市内事業所の取り組みを紹介して、市内に波及させる。
- ・ 脱炭素経営は、光熱費や燃料費が低減するだけでなく、他社との差別化や優位性が構築され、持続可能な経営につながることから、一層の普及啓発を行う必要がある。

【数値目標の進捗状況】



■ R6 年度の主な取り組み

市の施策： 省エネ行動の推進、省エネ行動の実践等

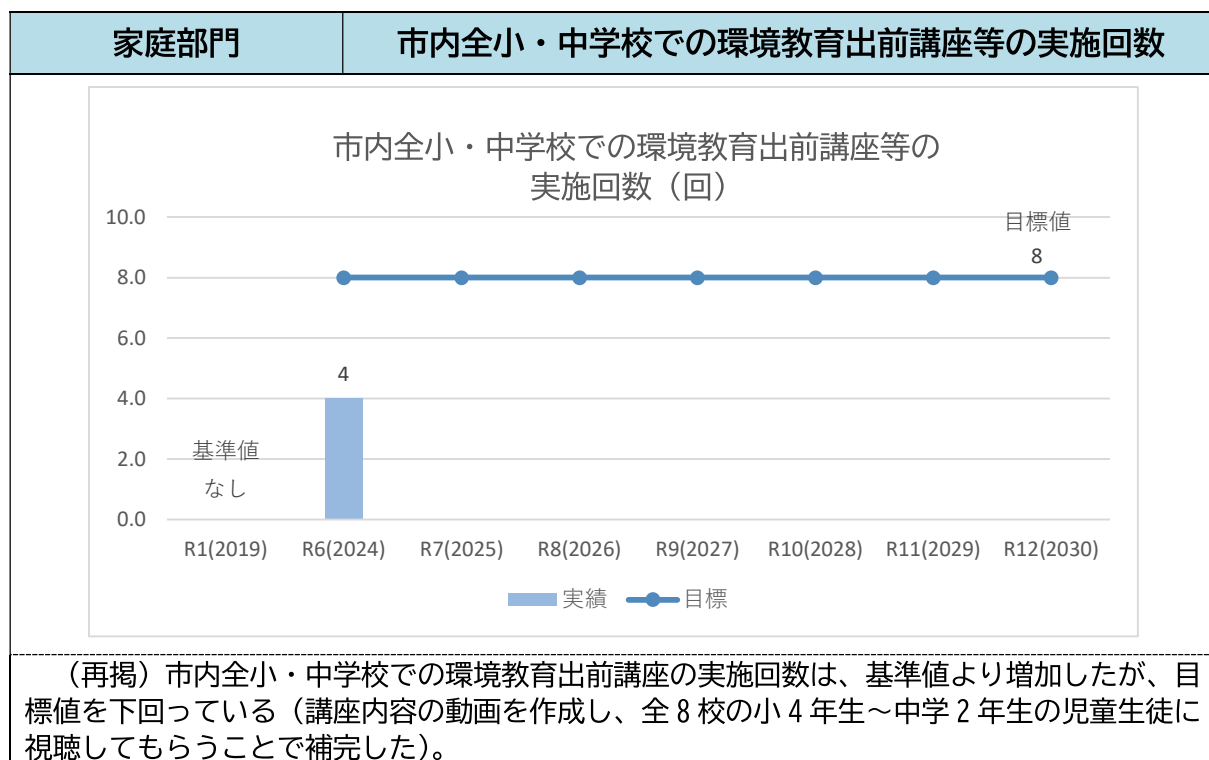
- ・ 市報6月号、9月号、12月号、3月号において、みんなで取り組む環境アクションの紹介と身近に取り組めることをコラム形式で掲載した。
- ・ タブロイド誌「あやめ Repo」10月号において、“豊かな自然環境を未来に繋ぐ 地域脱炭素への挑戦”と題して市の取り組みを紹介した。
- ・ クールビズの推進やグリーン購入対象物品の購入など、市の率先実行を行った。
- ・ 地域脱炭素プラン推進事業費補助金を創設し、省エネ設備（高効率空調機器、高効率照明機器）について、県内の基礎自治体では最高額で間接補助を実施した。



■ R7 年度以降の方針、課題

- ・ 地域脱炭素プラン推進事業費補助金の継続した周知を実施する。
- ・ 市報やホームページ、全戸配布のタブロイド紙（あやめ Repo）などを活用した省エネ行動の実践を呼びかけるとともに、脱炭素の暮らしのメリットについての紹介を継続する。
- ・ 市事務事業においても、一人ひとりの意識づけを徹底し、率先実行を図る。

【数値目標の進捗状況】



■ R6 年度の主な取組み

市の施策： 省エネ行動の普及啓発、省エネ行動の実践等

- ・ ライフスタイルの転換を推進するため、省エネ行動と合わせて「脱炭素の暮らしのメリット」について、チラシを全戸配布した。
- ・ 学校から家庭、地域への波及を狙い、地球温暖化を自分事とし、できることを考える契機を創出する環境教育の充実（電力の見える化システムや出前講座の動画作成等）を図った。
- ・ 市の住宅リフォーム補助金により、既存住宅の寒さ対策・断熱化を推進した。



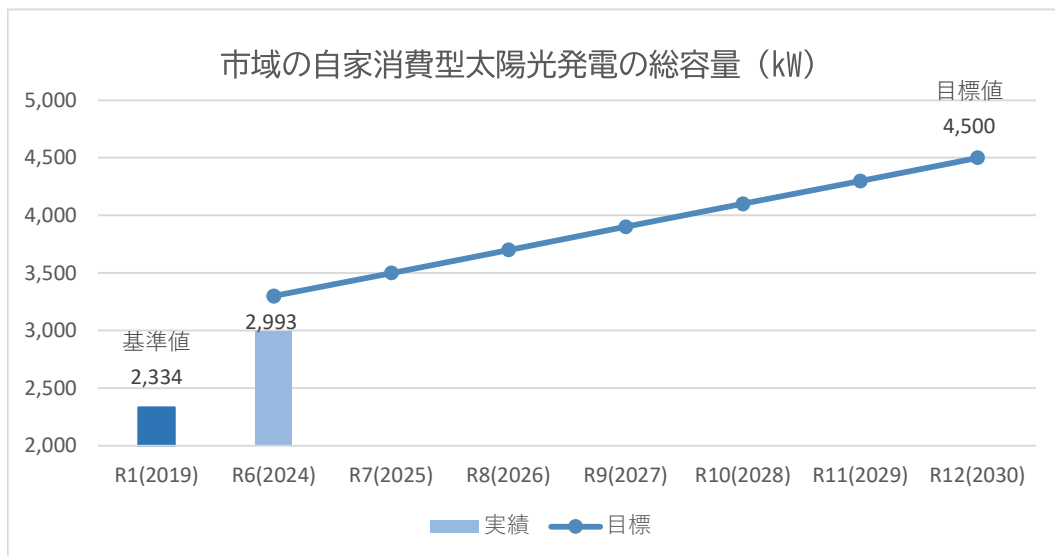
■ R7 年度以降の方針、課題

- ・ 省エネは「我慢」ではなく、お財布にもやさしく、暮らしにメリットがあるものとして、継続的な周知を実施する。
- ・ 市の住宅リフォーム補助金を継続し、既存住宅の寒さ対策・断熱化を推進する。
- ・ 県の「やまぽっかの家（やまがた省エネ健康住宅）」の普及促進を図る。
- ・ 高効率給湯器等についても国等の有利な補助金を紹介し、普及促進を図る。

再生可能エネルギーの導入・拡大

【数値目標の進捗状況】

市域の自家消費型太陽光発電の総容量(kW)



市域の自家消費型太陽光発電の総容量は、基準値より増加したが、目標達成に向けて更なる取組みが必要である。

※ 実績値は「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（情報公開ウェブサイト）」を参照。

■ R6 年度の主な取組み

市の施策： 補助制度の創設

- 令和 6 年 5 月、本市の地域脱炭素移行・再エネ推進事業計画（重点対策加速化事業）が採択され、環境省の「脱炭素重点対策実施地域」に選定された。
- 地域脱炭素プラン推進事業費補助金を創設し、自家消費型太陽光発電設備（個人 7 万円/kW+1 万円：上限 64 万円、事業者 5 万円/kW：上限 245 万円）、蓄電池（個人 1/3：上限 80 万円）、木質バイオマス燃焼機器（個人及び事業者 2/3+1 万円：上限 41 万円）の間接補助を実施した。
- 地域新電力と連携し、地域の再エネ 100%電力を使用している市内全小中学校（8 校）に「電力の見える化システム」を実証導入し、電力の地産地消を広く周知した。



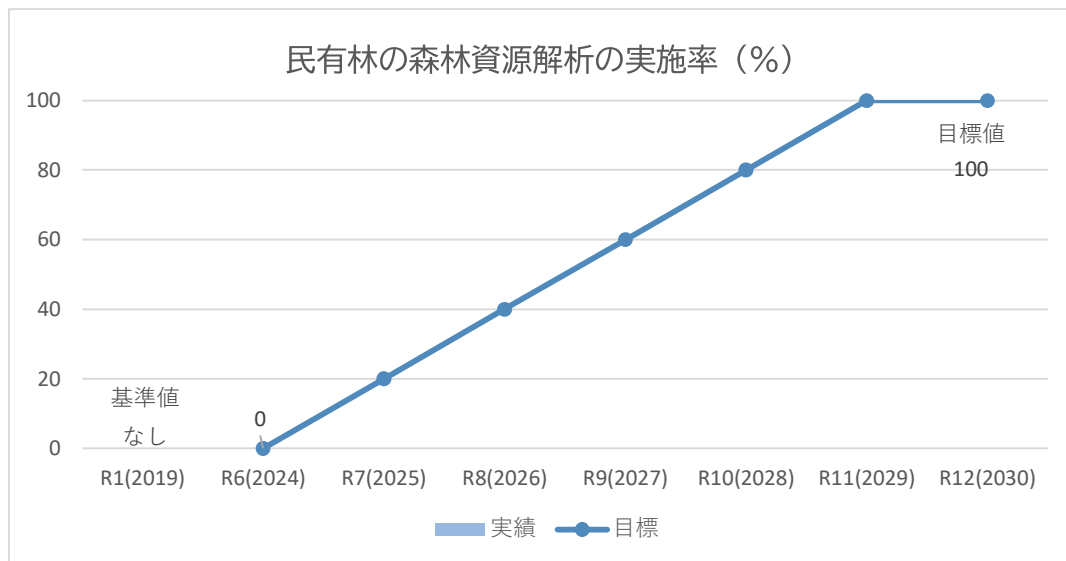
■ R7 年度以降の方針、課題

- 自家消費型太陽光発電設備の普及拡大が課題であり、関係団体等との連携が必要である。
- 節約や災害対応力が向上するなどの導入するメリットや「山形県県民みんなで地産地消費電力買取プラン（非 FIT 売電）」の周知を強化する。
- 脱炭素プラン推進事業費補助金を活用し、地域内経済循環を図りながら、再エネ導入及び燃料転換を推進する。

森林吸収量の確保に向けた取組み

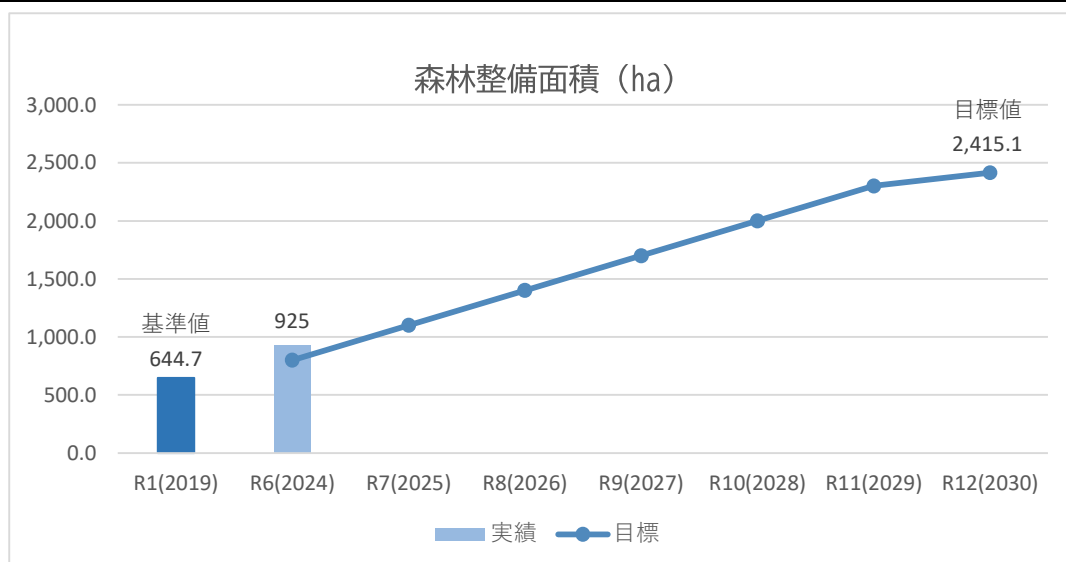
【数値目標の進捗状況】

民有林の森林資源解析の実施率



民有林の森林資源解析の実施率は、森林経営管理制度における市の実施方針を作成し、モデル地区の選定及び当該地区の森林境界明確化の準備を行った。次年度以降、目標達成に向けて解析に着手する。

森林整備面積（2013 年度以降）



森林整備面積は、基準値より増加した。

※ 林野庁が調査報告する「森林吸収源インベントリ情報整備事業「森林経営」対象森林率調査」を基に FM 率×森林面積で森林整備面積の推計値を算出。

■ R6 年度の主な取組み

市の施策： 適正な森林管理・啓発、木質バイオマス燃焼機器の導入補助

- ・ 森林施業支援事業を活用し保育間伐を実施した。
(実施箇所 … 五十川字駒木平、実施面積 … 3.24ha)
- ・ 地域脱炭素プラン推進事業費補助金を創設し、木質バイオマス燃焼機器（個人及び事業者 2/3+1 万円：上限 41 万円）の間接補助を実施した。



■ R7 年度以降の方針、課題

- ・ 補助事業を活用して森林整備を進めているが、間伐に対する補助金がつきにくいことが課題である。事業計画では、事業期間が令和 7 年度～令和 9 年度、事業面積 13.27ha であり、R7 は 3.51ha を整備予定である。
- ・ 木質バイオマス燃焼機器導入に関しては、燃料転換や油漏れ流出事故の抑制にも効果があることから、普及を強化する。

Topics

令和 6 年度 長井市地域脱炭素プラン推進事業費補助金

R6. 7.1(月)から受付開始！

環境にもお財布にも優しい、新しいライフスタイルへ

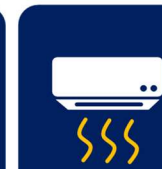


福島県の地域脱炭素移行・再生エネルギー推進交付金
(重点対策加速化事業) を活用しています。

令和 6 年度 長井市地域脱炭素プラン推進事業費補助金

脱炭素地域づくりを推進するため、下記のとおり予算の範囲内で補助金を交付します。

1 補助対象設備、補助額・補助率、主な要件

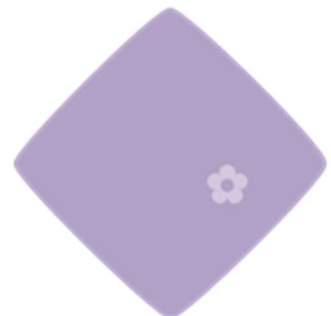
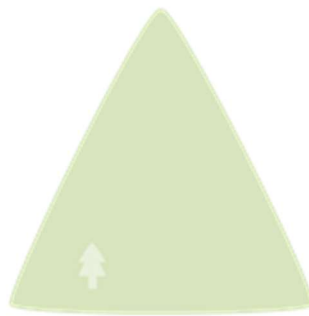
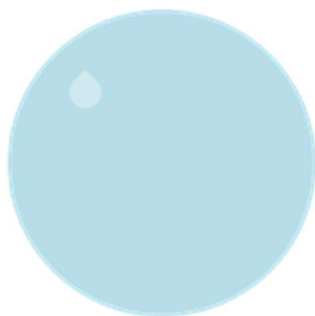
自家消費型 太陽光発電設備	蓄電池	薪ストーブ等 (木質バイオマス燃焼機器)	高効率空調機器	高効率照明機器
				
個人 事業者	個人 事業者	個人 事業者	個人 事業者	個人 事業者
補助額 個人(10kW未満) 7万円/kW + 1万円 ・余剰分の非FIT売電が必要 事業者(50kW未満) 5万円/kW ・事業者のみPPA等も対象	補助率 補助対象経費の 1/3 ・太陽光発電設備と 同時設置する場合のみ ・14.1万円/kWh(税抜) 以下の設備のみ対象	補助率 補助対象経費の 2/3 + 1万円 上限：41万円 ・薪、チップ、ペレット ストーブが対象	補助率 補助対象経費の 1/2 上限：1,000万円 ・更新のみ対象 ・省CO ₂ 30%以上が必要	補助率 補助対象経費の 1/2 上限：500万円 ・更新のみ対象 ・調光型LEDのみ対象
新規設置が対象			設備更新が対象 ※ 中小企業は省工本診断の実績が必要	

地 球 温 暖 化

対 策 実 行 計 画

事 務 事 業 編

Nagai City Environment Master Plan



【長井市地球温暖化対策実行計画 事務事業編の位置づけ】

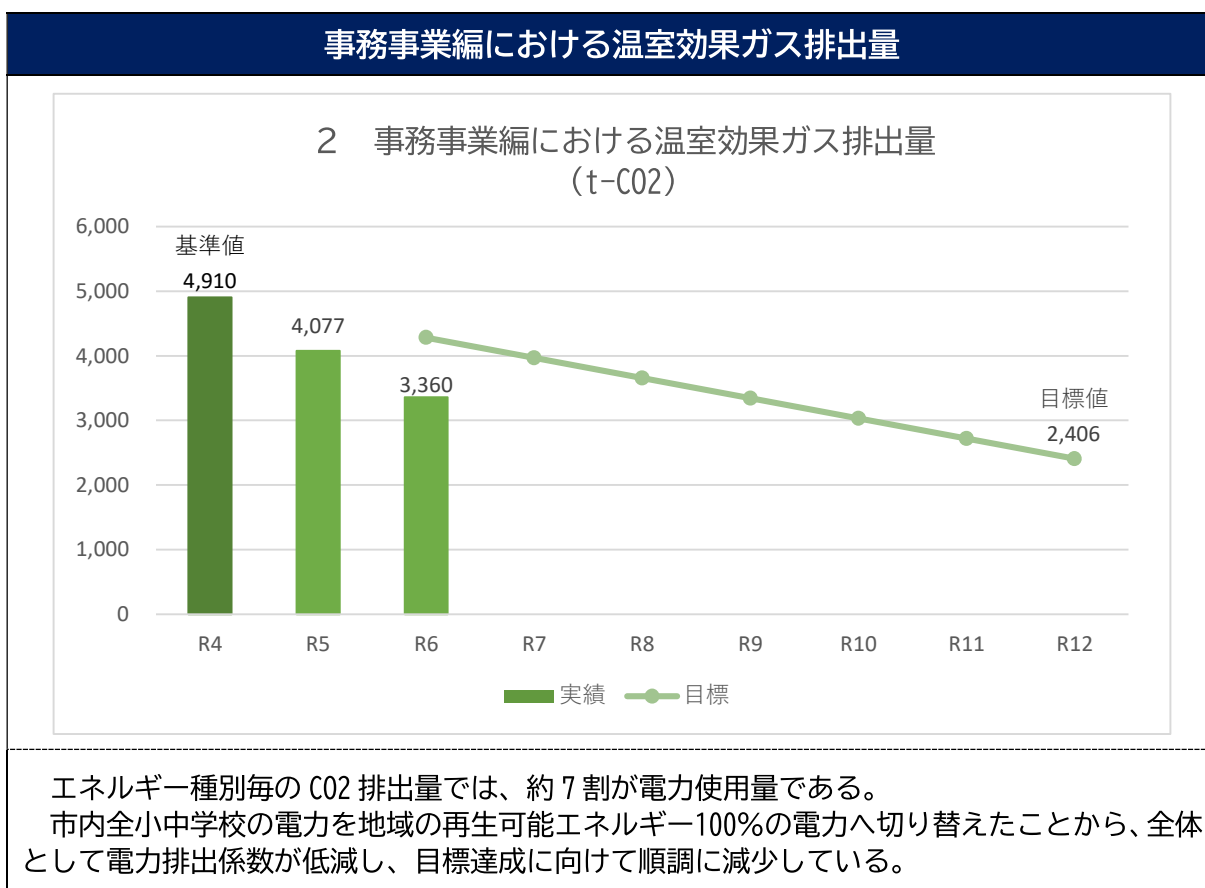
地球温暖化対策実行計画（事務事業編）は、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成 10 年法律第 117 号）第 21 条第 1 項に基づき、長井市が自ら行う事務事業の中で、環境への配慮を徹底し、「事業所としての市」が環境負荷の低減に向けた取組みを率先して実行することにより、市民及び事業者等の環境配慮活動を促進するものです。

地球温暖化対策は、第 4 次長井市環境基本計画の取組みの柱であることから、一体のものとして策定しました。

【削減目標】



【削減目標の進捗状況】



【温室効果ガスの総排出量】

単位 (kg-CO2)

種類	令和 6 年度の実績値	割 合
二酸化炭素 (CO2)	3, 350, 472	(99. 73%)
メタン (CH4)	1, 205	(0. 04%)
一酸化二窒素 (N2O)	7, 089	(0. 21%)
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	930	(0. 03%)
合 計	3, 359, 611	(100%)

※ 端数処理の関係で、内訳と合計が一致しないものがあります。

エネルギー種別毎の CO2 排出量

エネルギー種別		単位	令和 6 年度の実績値	CO2 換算 (kg-CO2)	割合
電力使用量		kwh	7, 382, 122	2, 387, 017	71%
庁 舎 燃 料	灯油	ℓ	181, 680	452, 383	13%
	A 重油	ℓ	94, 000	254, 740	8%
	LPG	kg	473	1, 418	0%
車 両 燃 料	ガソリン	ℓ	66, 885	155, 173	5%
	軽油	ℓ	38, 659	99, 740	3%

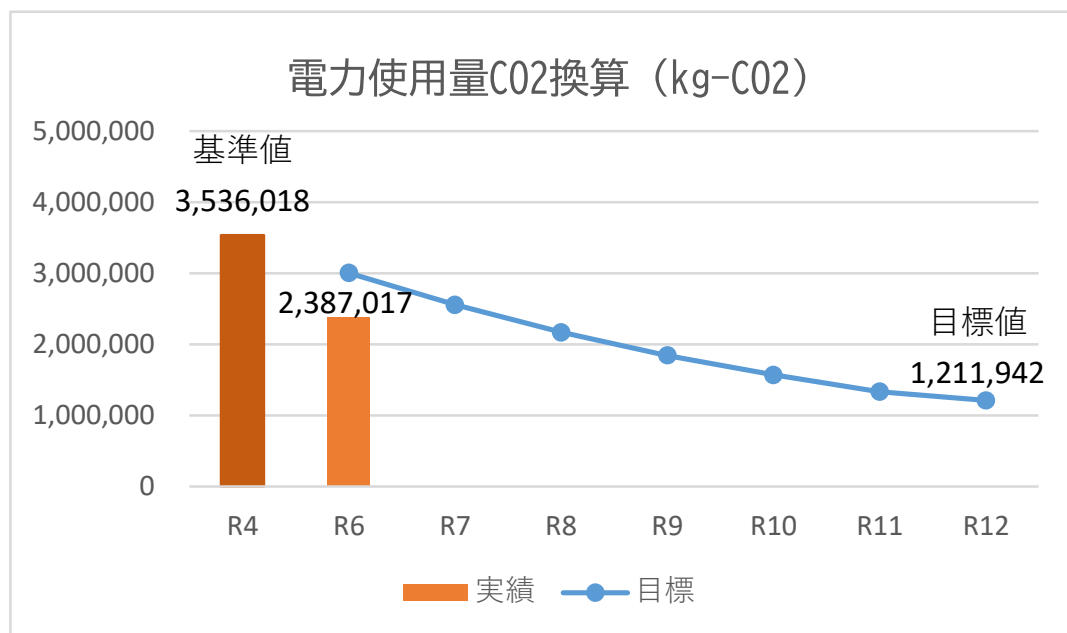
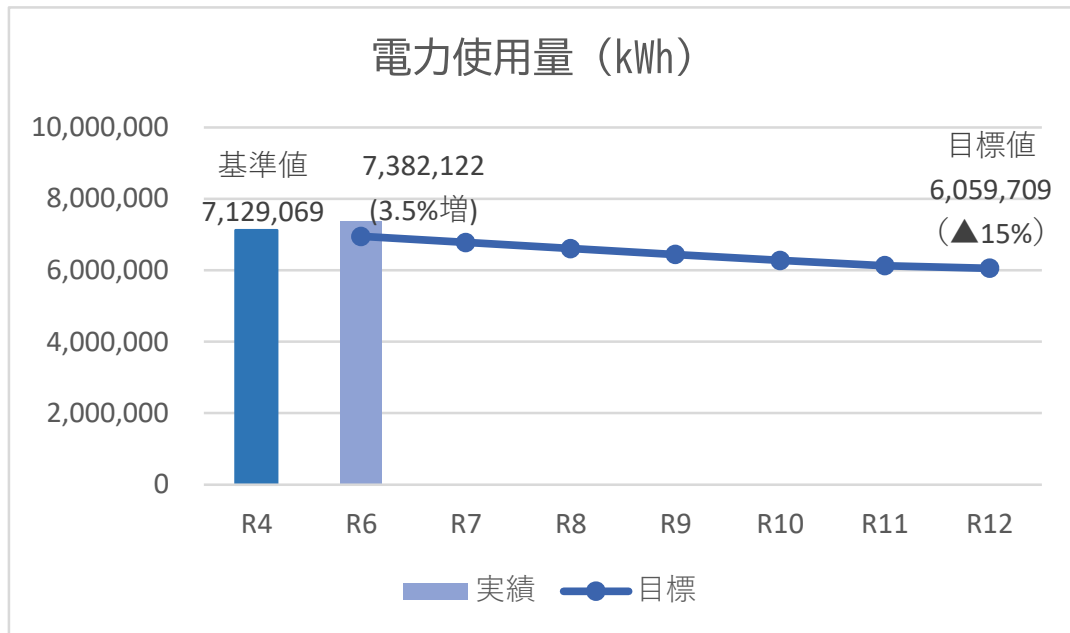
電力排出係数

令和 6 年度の実績値
0. 323 kg-CO2/kWh

エネルギー種別毎の削減に向けた取組み

【数値目標の進捗状況】

電力使用量

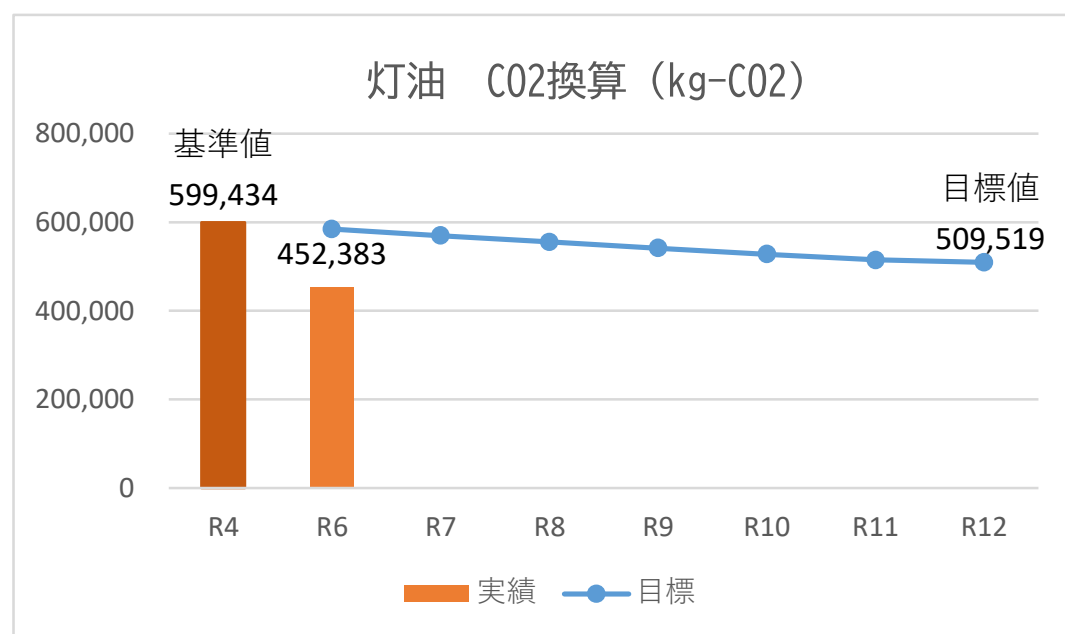
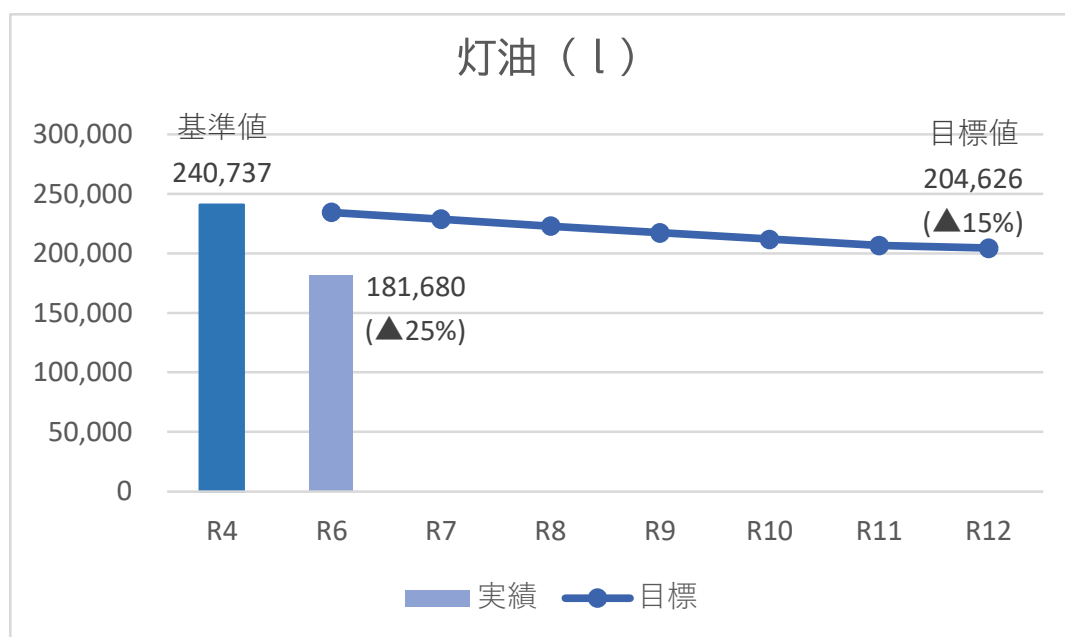


電力使用量は、基準年度と比較して、冬季間の消雪設備動力が 223,053kWh 増加したことから、2月の大雪による気象状況が大きく影響し、基準値よりも増加した。

一方で、CO2換算では、市内全小中学校（8校）の電力を地域の再生可能エネルギー100%の電力に切り替えたことから、基準値よりも大きく低減した。

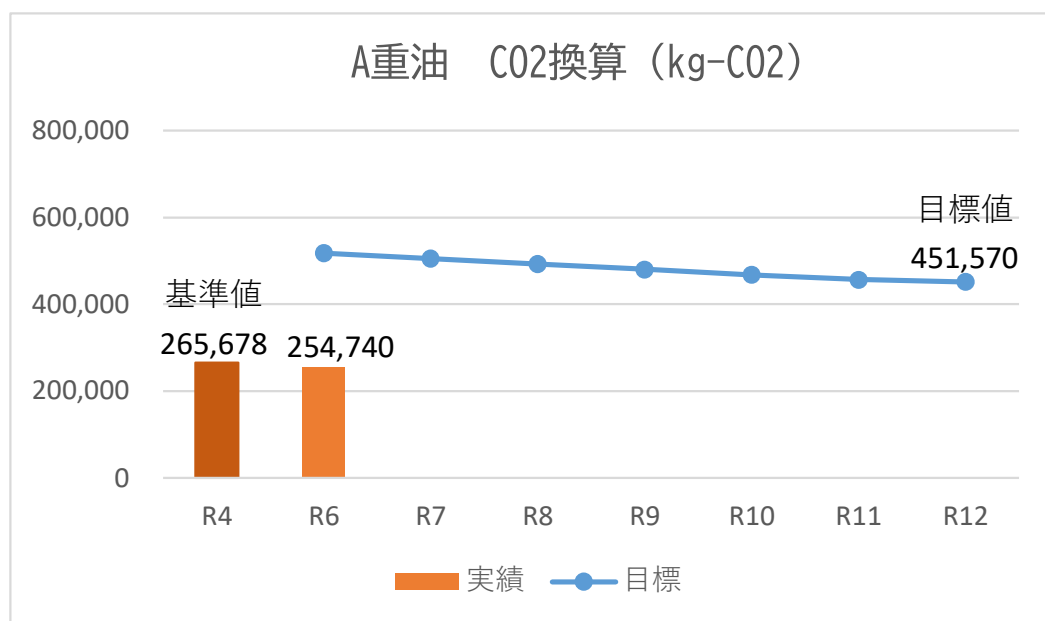
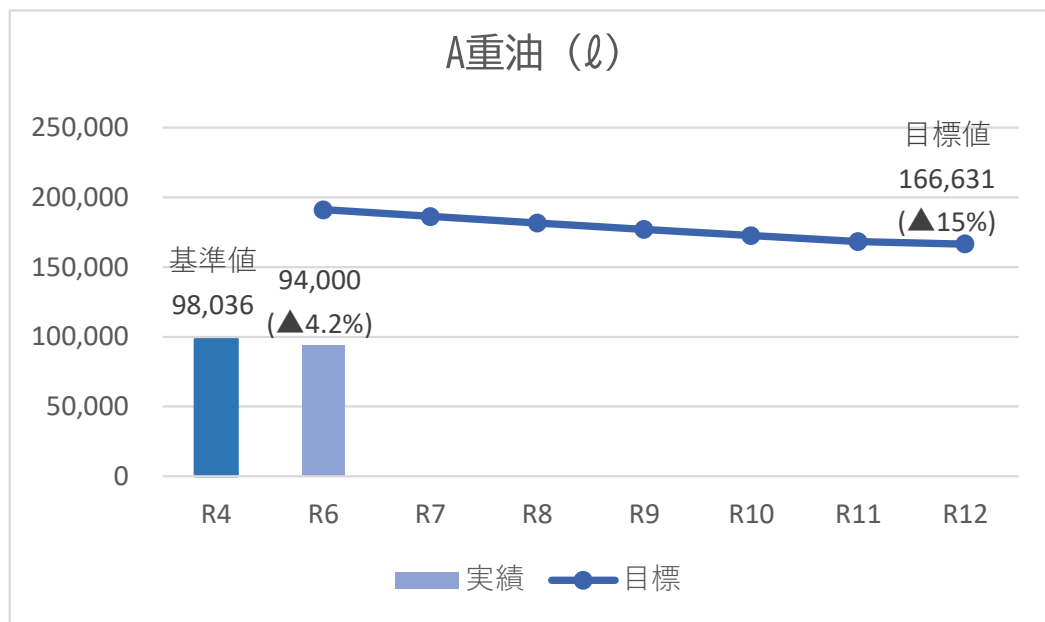
【数値目標の進捗状況】

庁舎燃料：灯油



灯油使用量は、公共施設の新築・改築の際、冷暖房設備を高効率空調機器等へエネルギー転換したこと等により、基準値より減少し、目標値を下回っている。

庁舎燃料：A 重油



重油使用量は、基準値より減少した。

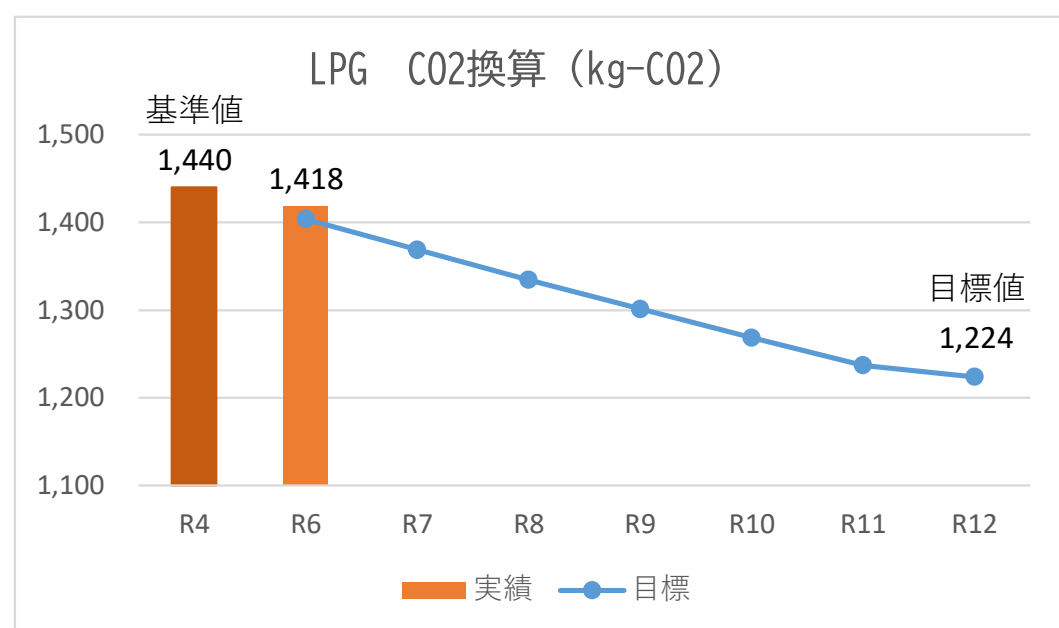
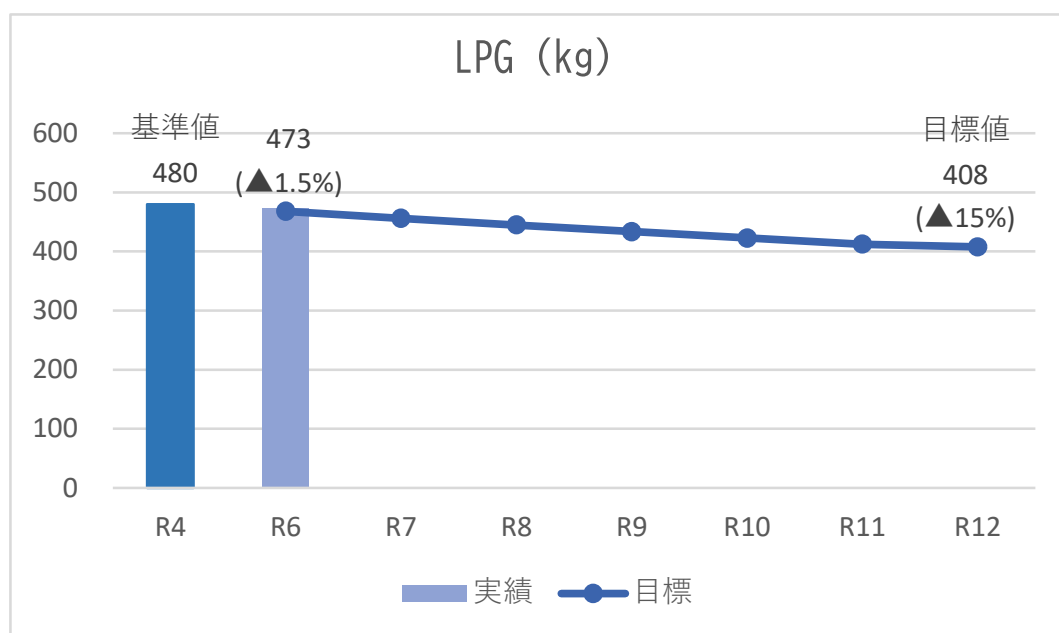
【基準値と目標値について】

基準年度における A 重油使用量を 2 重に計上する誤りがありました。

正式値は、基準値 98,036ℓ、CO2 換算 265,678kg-CO2 となります。

計画の数値は中間見直しの際に訂正することとし、その間の評価については正しい基準値と比較するものとします。

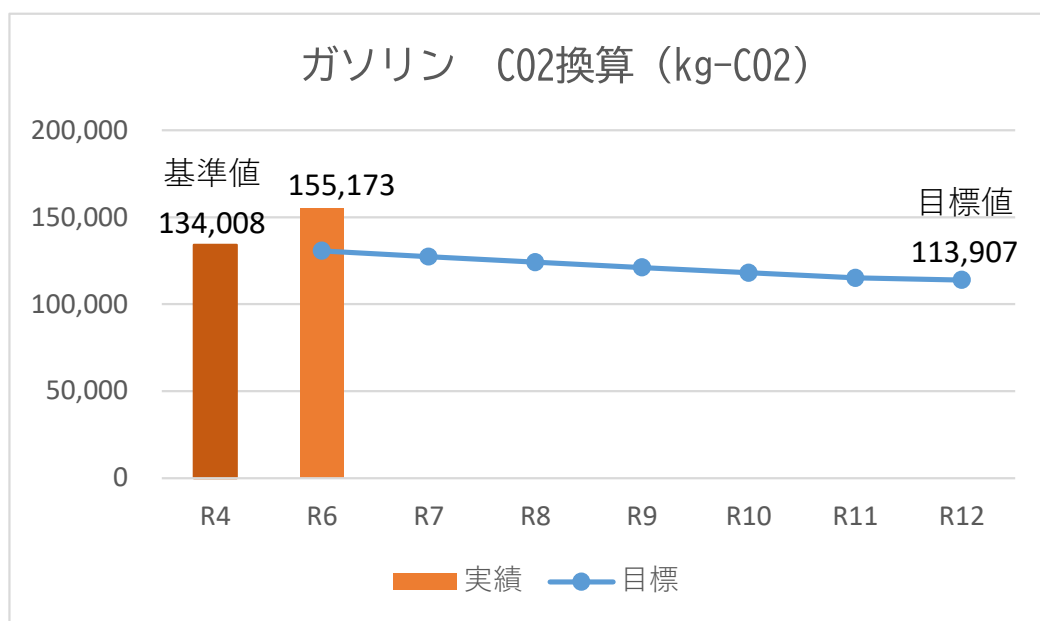
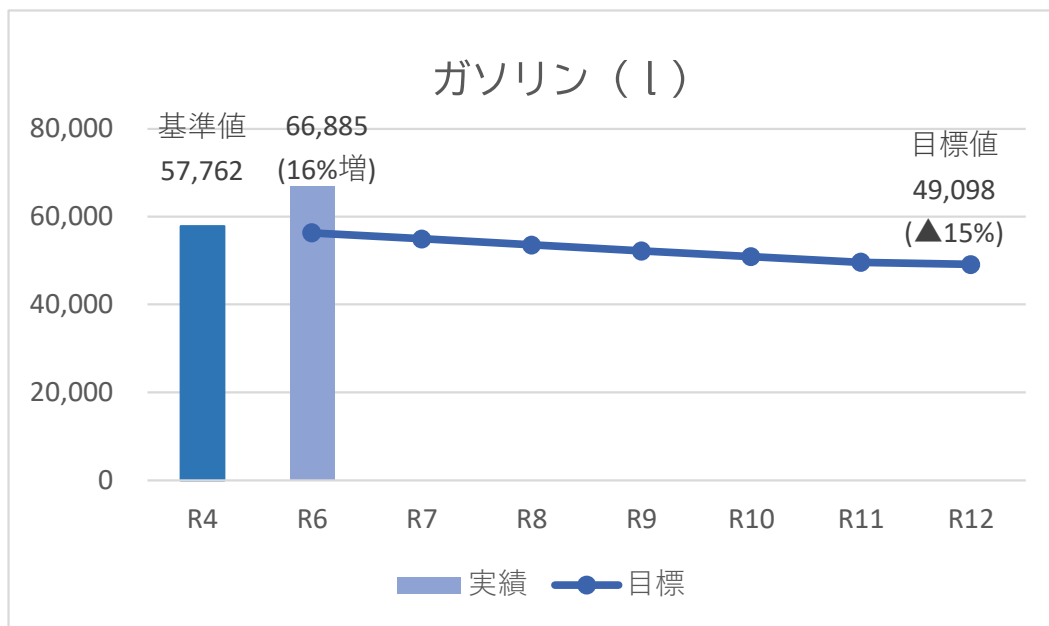
庁舎燃料：LPG



LPG 使用量は、基準値より減少した。

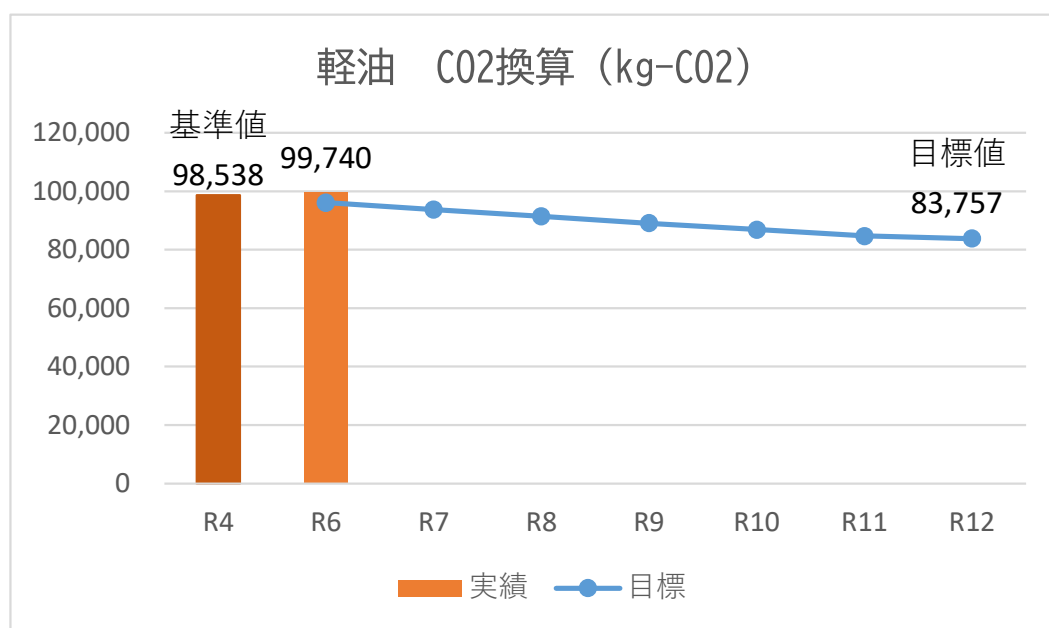
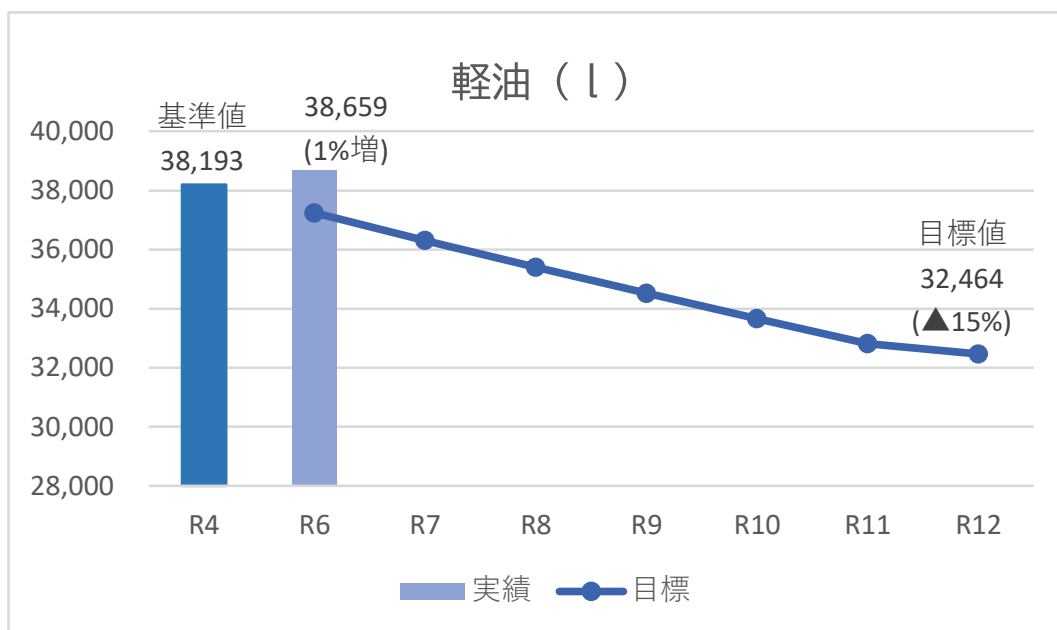
※ LPG 使用量は、LPG (m³) に環境省が定めた係数を掛け、重量 (kg) 換算した。

車両燃料：ガソリン



ガソリン使用量は、基準値より増加した。
 車両1台あたりの走行距離が平均で約2,000km増加し、ガソリン使用量が増加したと推察されるため、目標達成に向けて改善が必要である。

車両燃料：軽油



軽油使用量は、基準値より増加した。
大半が、市営バス及びスクールバスで使用しているため、効率的な運行形態を図る。

■ R6 年度の主な取組み

市の施策： 高効率設備の導入・更新、職員一人ひとりの取組み 等

- ・ 本庁舎の空調設備に対し、デマンド制御装置を導入した。
- ・ 使用しない箇所の消灯、空調オフ、昼休みは窓口を除き全消灯の徹底を行った。
- ・ 4/15～10/31 をクールビズ期間に設定し、冷房の節電を図った。
- ・ 市庁舎が南北に長いため、午前中は東側、午後は西側のブラインド等を適切に使用し、空調負荷低減を図った。
- ・ 毎週水曜日をノー残業デーとし、庁内放送にて呼びかけを行った。
- ・ すみれ学園の移転・新設をはじめ、施設の老朽化による改修等において、高効率空調設備等への切り替えにより、化石燃料から電気へのエネルギー転換を図った。

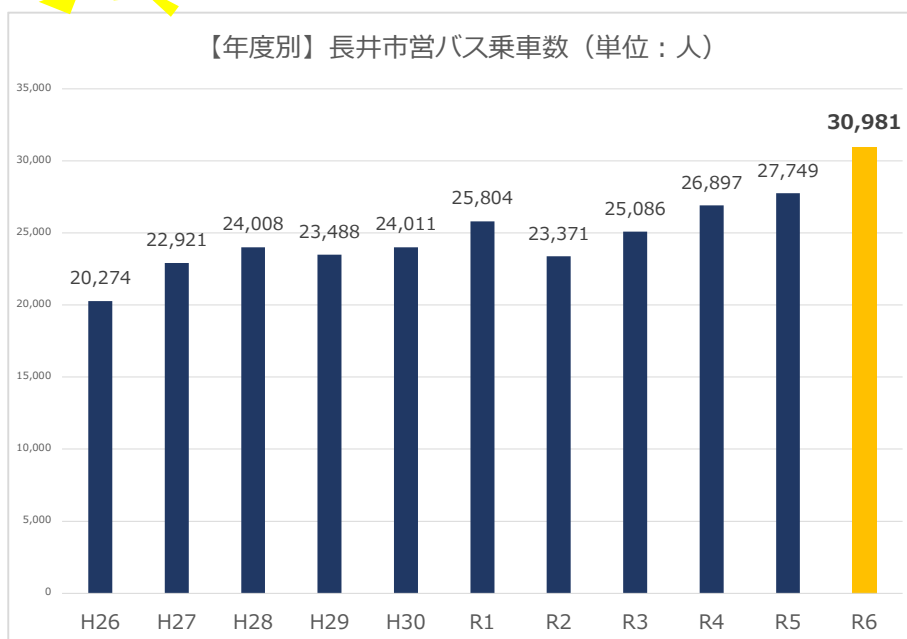


■ R7 年度以降の方針、課題

- ・ 全庁的にエネルギー使用量の削減、省エネの徹底を図る。
- ・ 学校施設において、順次 LED 照明への更新を実施する。
- ・ 市の率先実行として、再エネ電力の地産地消を推進する。
- ・ 市営バス、スクールバスの効率的な運行形態を図る。
- ・ ノーマイカーデーを設定し、通勤手段に徒歩・自転車の利用や、市営バス・フラワー長井線など公共交通機関の利用を呼び掛ける。



公共交通機関の利用促進（直近の市営バス乗車数の推移）

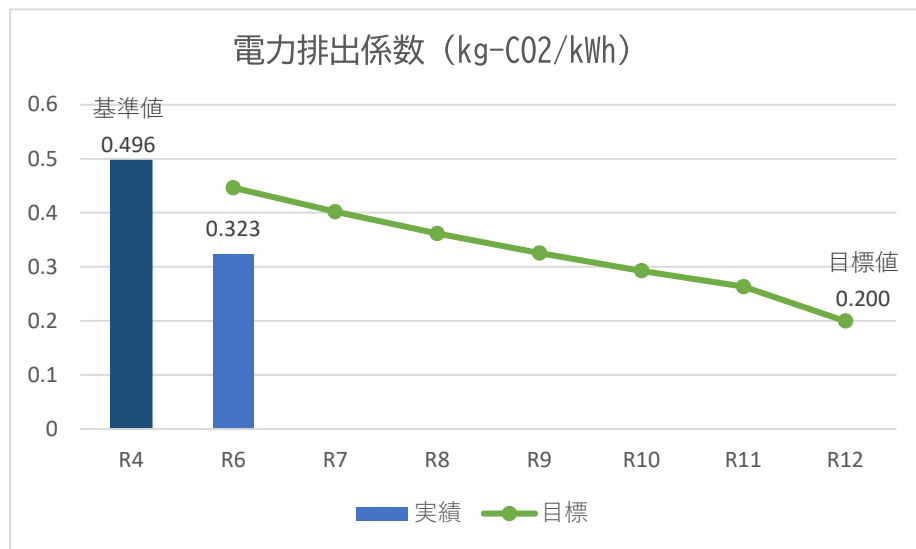


	西根バス：定員29名
	里巻・中央・置賜総合病院線
	里巻・中央線
	致芳バス：定員14名
	桐館・白兔・中央線
	平野バス：定員14名
	九野本・中央・平山線
	伊佐沢バス：定員14名
	伊佐沢・中央線
	中央・伊佐沢・置賜総合病院線
	豊田バス：定員14名
	置賜総合病院・豊田・中央線
	中央・置賜総合病院線

電力排出係数の削減に向けた取組み

【数値目標の進捗状況】

電力排出係数



電力排出係数は、基準値より減少した。

公共施設電気使用量の 19.6%を占める全小中学校の電力について、CO₂ を排出しない「電力排出係数ゼロ」である地域の再生可能エネルギー100%電力に転換したことが要因である。

■ R6 年度の主な取組み

市の施策： 市が契約する電気の電力排出係数低減化
地産電力の積極的な使用
公共施設や市有地への太陽光発電設備導入

- ・ 市内全小中学校で、地域で発電した再生可能エネルギー100%電力を使用した。
- ・ 給食共同調理場に隣接する市有地において、オンサイト PPA による自家消費型太陽光発電設備整備事業に着手した。



■ R7 年度以降の方針、課題

- ・ 市の率先実行として、再エネ電力の地産地消を推進する。

